

第2章 あったか高知観光条例の基本方針の実施状況

1 観光資源の保護、発掘、育成の取組み

<「モノ・ヒト・コト」を見つけて生かそう>

■地域ならではの体験型観光に取り組もう

1. 具体的な取組みと成果

地域の観光資源の商品化に向けた資源の掘り起こしや人材育成を行うなど、地域の受入態勢づくりを進めました。こうした取組みの成果として、地域の魅力を生かした体験型観光の動きが広がるのと同時にツアー商品につながる事例が出てきました。

また、農林漁業体験民宿の開業に意欲のある地域を支援し、提供するサービスの品質の向上やネットワークづくりを進めた結果、農家民宿等の開業軒数は大幅に増加するなどグリーンツーリズムの動きが広がっています。教育旅行の取組みとしては、幡多地域の受入体制の一元化や市町村単位の体験型観光受入研究会の組織づくりが進むなどの態勢が充実されました。

(1) 地域観光資源を活用したメニューづくり

○高知東海岸100物語の取組み

東部地域の市町村で構成する高知県東部観光開発促進協議会が主体となって「高知東海岸100物語実行委員会」を開催し、グリーンツーリズム等による交流人口の拡大に向けたメニューづくりを実施しています。こうしたメニューのうち、熟度の高いものについては、地域の観光資源を組み合わせた観光ルートづくりを行い、ごめん・なはり線を活用した「自然・田舎体験ツアー」として観光商品の造成につながっています。

○中土佐町上ノ加江漁協の取組み

平成15年度から県の体験型観光推進事業に取り組んできた中土佐町の上ノ加江漁協においては、ロープワークや漁の籠上げ、コンブ収穫などの漁業体験に多くの観光客が訪れるようになり、今年4月には総合交流施設「わかしや」が完成しました。また、具体的な誘客に向けた情報発信や教育旅行を受入れるための商談会に参加するなど、積極的な取組みが進められています。こうした動きは、宿毛市栄喜をはじめとしたブルーツーリズムを推進する地域の広がりにつながっています。

○いの町観光協会の取組み

町村合併後に新たに設立された「いの町観光協会」が中心となって、町民を対象としたアンケート調査や観光セミナーを開催し、観光資源の活用方法の検討や「町の宝図」を作成しました。また、「いの町グリーンツーリズム研究会」との連携や、「かみの町いのひな祭り」を開催するなど新たな交流メニューづくりを行っています。

○森林セラピーを核とした滞在型・交流型観光の取組み

森林セラピーを活用した滞在型のグリーンツーリズムを実践することを目的に、体験プログラムづくりやガイドの育成、商品化に向けたモニターツアーを実施するなど、地域の受入態勢を整備しました。(津野町・梶原町)

○大月コスモスまつりの取組み

高知国体を契機とした地域イベントを、県外観光客も楽しむことのできる観光商品として育成することを目的として、平成18年10月に「大月コスモスまつり」を開催し、会場での地域特産品の販売やPRも行うなど、16日間のまつり開催期間中に3万人を超える観光客が訪れました。

①県の実施した事業の内容については、P16～20を参照

②各市町村から報告のあった主な事業の内容については、P73～の参考資料「高知県観光ビジョンの基本方針に基づく主な取組み」を参照

(2) 体験型観光に取り組む地域の増加・ネットワークの促進

体験型観光に取り組む地域の代表者や観光事業者が一体となって、地域資源を生かしたメニューづくりや、人材育成を目的とした組織づくりが進められました。

(香美市・いの町・中土佐町・津野町・黒潮町・四万十市・宿毛市・大月町)

また、グリーンツーリズムの実践者による情報交換やネットワークづくりを目的とした「こうち体験ツーリズムネットワーク」や、四万十川上・中流域の農家民宿の関係者による「四万十川グリーンツーリズム連絡会」など、市町村の枠組みを超えた広域の動きが出てきました。

(3) 農林漁業体験民宿の開業

農家民宿等の開業を検討している地域や個人への支援を行いました。この結果、農家民宿等の軒数は大幅に増加しています。

<農家民宿等の軒数> (平成19年7月末現在)

年度	H16	H17	H18	H19
農家民宿等	3	14	28	38

(4) 教育旅行の受入れ

○幡多広域観光協議会の取組み

幡多地域においては、かつおのタタキづくり体験や四万十川のカヌー体験などを中心に年間2千人を超える修学旅行生を受入れています。幡多広域観光協議会が、旅行会社との対応や各施設との受入調整、旅行終了後の精算業務の窓口となっており、地域エージェント機能

を持つ組織として、県外の旅行会社からも高い評価を受けています。

<幡多広域観光協議会の受入実績>

年度	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
学校数	1 2	1 5	1 0	1 8	1 8	1 6	2 1	1 9	3 2	2 2
人数	1,843	2,052	1,307	2,496	2,510	1,629	2,064	2,073	4,451	2,114

- 各地域における体験メニューの確立や受入態勢の整備を目的として、奈良県の進学塾が県内で実施する体験合宿の受入支援を行いました。県内4コース（①北川村・室戸市、②本山町・香南市、③中土佐町・津野町、④黒潮町・四万十市・宿毛市）の海と山との組み合わせによる地域の特色を生かしたプログラムやルートづくりが進みました。
- 高知中央地域での教育旅行の誘致を目的として、旅行会社の企画する教育旅行のコースづくりを支援しました。自然体験（香美市・土佐市・いの町・本山町・須崎市）、漁業体験（中土佐町）、環境保全型農業（安芸市）の学習をメニューに加えた環境学習型の教育旅行商品が造成されています。

(5) 地域資源の活用に対する支援

- 「こうち体験ツーリズム大学」の開催

安全対策・高品質サービスなどの研修や実践者の情報交換の場を確保し、グリーンツーリズムの発展段階に応じた研修を継続的に行うために「こうち体験ツーリズム大学」を開催しました。

- こうち体験ツーリズムマニュアルの作成

農山漁村体験における事故・災害に対する安全管理についてマニュアルを整備するとともに、教育旅行や都市と農山漁村の相互理解を深めるために、平成18年2月に営利を目的としない短期的な受入れを行う事例の安全管理や受入れの質の確保を目的とした「農山漁村生活体験ホームステイに係るガイドライン」を整備しました。このことにより、民泊の試行が可能となり、農林漁業体験民宿の開業へとつながっています。

- 観光コンベンション協会の旅行業免許の取得

高知らしい地域の観光資源を生かした着地型商品の企画造成や販売を目的として、観光コンベンション協会が、平成18年10月に第二種旅行業務取扱登録免許（国内のパック旅行の販売等）を取得しました。

2. 今後の取組み

- ◎花・人・土佐であい博の活用

- ・地域の多彩な「体験」や「食」を組み合わせ、メニューの観光商品化を進めます。
- ・広域観光メニューの造成や品質の向上、情報発信による誘致促進など魅力ある商品づくりを支援していきます。

◎意欲のある地域の支援

地域資源の掘り起こしや磨き上げについては一定進んできましたが、地域観光への取組みについては、地域間で差が生じています。また、県内には、まだ光が当たっていない地域固有の観光資源が存在しており、引き続き地域資源の発掘や育成について、地域の取組みを支援していきます。

◎地域エージェント組織の育成

地域独自の魅力を生かした旅行商品をつくるためには、様々な観光資源を広域的に組み合わせることが必要であり、地域コーディネート機能の確立が必要となります。今後は地域の組織づくりを進め、旅行業の免許を取得した観光コンベンション協会が持つ機能を地域組織との連携や協働に生かしていきます。

◎グリーンツーリズムによる地域づくりの推進

- ・農山漁村と都市との交流によって地域を維持・発展させるため、グリーンツーリズムを推進するための仕組みづくりを支援します。
- ・農家民宿等の収入や雇用が安定して確保され、観光ビジネスとして定着するように支援をしていきます。

◎教育旅行受入態勢の充実

- ・幡多地域では、毎年2千人以上の教育旅行の受入を行っており、旅行会社や学校関係者の間では、修学旅行の行き先として定着しつつあります。将来を見据えたよりよい組織体制のあり方について検討しており、助言などの支援を行っていきます。
- ・その他の地域においても教育旅行メニューの商品化に向けた取組みが進められていることから、地域の組織づくりや商品化を支援していきます。

1 観光資源の保護、発掘、育成の取組み事業一覧表

実施事業名	市町村等名	事業主体	事業費:千円	左のうち県費:千円	実施概要	
観光振興課 体験型観光推進事業 <平成15～17年度>	香美市(旧物部村) 中土佐町	同左	28,994	22,767	体験型観光推進事業 自然環境・伝統文化などの地域資源を魅力ある体験型観光の商品とする取組みに対して補助を行った。 ①体験型観光指導者の育成 ②体験型観光プログラムの作成 ③モニターツアーの実施 ④パンフレットの作成	
高知県観光ビジョン実践支援事業 <平成17年度>	高知県東部観光開発促進協議会	同左	1,400	700	高知東海岸100物語交流メニューづくり事業 高知東海岸100物語実行委員会を開催し、テーマ毎の課題の整理や市町村を越えたネットワークづくりに対して補助を行った。 <平成17年度のテーマ> 町並み、花めぐり、海遊び、川遊び	
	高知中央広域市町村圏事務組合	同左	1,048	501	旅行会社等招へい事業 首都圏の旅行会社等を7社招へいし、中央広域圏の体験型観光や歴史観光をテーマとしたモニターツアーの開催に対して補助を行った。	
	津野町	同左	1,280	640	津野町観光資源活用促進プラン策定事業 市町村合併後の津野町の観光ビジョンづくりや、人材育成に対して補助を行った。 ①周遊ルートづくりとマップ作成 ②風力発電や森林セラピーを活用したメニュー構築 ③コンビニエンスストア・ガソリンスタンドとの連携による観光案内ネット会議の立ち上げ	
	幡多広域観光協議会	同左	6,546	1,860	幡多広域地区観光ビジョン連携事業 幡多地域での教育旅行の受入機能の強化に対して補助を行った。 ①体験型観光及び教育旅行の推進 ②体験型観光プログラムの強化・開発提案 ③情報発信・収集・誘致 ④人材育成	
	四万十市	体験型観光受入研究会、 (社)四万十市観光協会		500	250	体験型観光受入体制推進事業 地域の特性を生かした体験メニューの発掘や閑散期における商品開発の検討に対して補助を行った。 ①研修事業教育旅行受入れ現場の視察 ②伝統漁法や農業体験のメニューの確立 ③農家民宿開業に向けた取組み ④四万十冬季滞在型モニターツアー
	須崎市	海の駅須崎魚祭り実行委員会		1,130	250	海の駅須崎の魚祭り事業 須崎の地場生産品のPR及び消費拡大を目的としたソフト事業に対して補助を行った。 ①第1回海の駅須崎の魚祭り事業 ②出展者に対するアンケート調査を実施し、観光資源としての活用方法を検討

1 観光資源の保護、発掘、育成の取組み事業一覧表

実施事業名	市町村等名	事業主体	事業費:千円	左のうち県費:千円	実施概要
高知県観光ビジョン実践支援事業 <平成18年度>	高知県東部観光開発促進協議会	同左	1,402	700	高知東海岸100物語交流メニューづくり事業 高知東海岸100物語実行委員会を開催し、テーマ毎の課題の整理や地域を越えたネットワークづくりに対して補助を行った。 <平成18年度のテーマ> モノづくり、食、ハイキング、産業観光
	高知県東部観光開発促進協議会	同左	315	157	高知東海岸だるま太陽広報用データ作成事業 一般観光客が容易にダルマ太陽が鑑賞できるスポット情報の基礎データの整備に対して補助を行った。 ①ダルマ太陽ウォッチングマップの作成 ②インターネットでの情報発信
	いの町	いの町観光協会	1,126	563	いの町観光資源再発見事業 市町村合併後の「いの町」の観光資源の活用の検討に対して補助を行った。 ①観光セミナー開催 ②町の「資源活用プラン」の作成 ③「町の宝図」制作委託(30,000部作成) ④かみのまちいの「ひな祭り」の開催 ⑤町を「映画の舞台に！」(トークショーの開催)
	須崎市	同左	120	60	須崎市体験交流メニューづくり事業 浦ノ内地区での体験プログラムの開発等に対して補助を行った。 ①モニターツアーの実施 ②イベント列車SL急行運転と商店街の連携事業
	津野町	同左	1,188	593	津野町森林セラピー活用実践事業 森林セラピーメニューの滞在型・交流型の観光メニューづくりに対して補助を行った。 ①観光ガイド・ボランティアの体制づくり ②森林セラピーのプログラムづくり ③旅行会社モニターツアーの実施
	幡多広域観光協議会	同左	6,029	1,300	幡多広域地区着地型エージェン機能推進事業 幡多地域での教育旅行の受入機能の強化に対して補助を行った。 ①体験型観光及び教育旅行における受入窓口の一元化 ②体験型観光プログラムの強化・開発提案 ③情報発信・収集・誘致 ④受入団体の意識レベルの向上と人材育成
	四万十市	体験型観光受入研究会、(社)四万十市観光協会	1,200	600	観光資源商品化支援事業 観光ガイドの育成や体験型観光に取り組む地域の受入体制の整備に対して補助を行った。 ①観光ガイド養成講座(12回開催) ②体験型観光カリスマ講演会 ③先進地視察(長崎県松浦市・黒潮町)
	大月町	大月町コスモスまつり実行委員会	4,376	1,000	大月コスモスまつりの開催支援 コスモスまつりの開催に対して補助を行った。 ①パンフレット・ポスター・入場パスポート券等作成 ②受付・駐車場等の整理委託

1 観光資源の保護、発掘、育成の取組み事業一覧表

実施事業名	市町村等名	事業主体	事業費:千円	左のうち県費:千円	実施概要
	大月町	大月町観光協会	360	175	体験型観光受入体制整備事業 体験型観光受入研究会による研究・学習会の開催に対して補助を行った。 ①インストラクター養成講座の開催 ②全国ほんまもの体験フォーラム視察研修(長崎県松浦市)
地域づくり支援課 元気のでる市町村総合補助事業 <平成17年度>	土佐清水市	さくらクラブ	1,000	350	うすばえ桜事業 ①周辺の名所の手作りマップ作成 ②桜祭りなどイベント開催
	越知町	越知町観光協会	260	130	地域観光情報発信システム開発事業 ①デジタルカメラやパソコンなど情報機器購入 ②地域情報を発信するホームページの作成
	いの町	いの町グリーンツーリズム研究会	3,000	1,500	いの町グリーンツーリズム推進事業 ①農家民宿を紹介するホームページやチラシの作成
	ごめん・なはり線活性化協議会	同左	4,500	2,000	東部地域を旅しようPRとアクション事業 ①小中学校の教員等を対象としたモニターツアーの開催 ②東部地域の情報誌「ごとごと瓦版」の発行 ③東部地域の観光体験施設を巡るスタンプラリーの実施
	馬路村	馬路村活性化推進協議会	3,860	1,900	馬路村まるごと体験事業 ①村長一日村内案内ツアーなど体験ツアーの実施
	安芸広域行政圏事務組合	同左	5,000	2,500	ボンネットバス導入記念イベント事業 ①東部地域の各種体験コーナーの設置や郷土芸能の披露など記念イベントの開催
元気のでる市町村総合補助事業 <平成18年度>	土佐清水市	さくらクラブ	380	114	うすばえ桜事業 ①周辺の観光名所ルートなどを掲載したホームページの作成 ②桜祭りなどイベントの開催
	ごめん・なはり線活性化協議会	同左	4,500	2,000	ごめん・なはり線支援事業 ①遠足・研修等のPRとモニターツアーの開催 ②東部地域の情報誌「ごとごと瓦版」の発行 ③「ごめん・なはり線の日」のイベント開催
	土佐くろしお鉄道中村・宿毛線運営協議会	同左	5,490	1,949	土佐くろしお鉄道中村・宿毛線利用促進事業 ①鉄道で行く体験ツアー ②中村駅や宿毛駅での駅まつり等の開催 ③イベント情報等ホームページの更新
	津野町	高野地区	7,193	1,841	高野「食」と「文化」の里づくり事業 ①農産物の販売加工などの拠点である風神荘の改修 ②高野農村歌舞伎が開催される高野廻り舞台の改修 ③地域ゆかりの勤皇の志士、「吉村虎太郎」を紹介する展覧会などイベントの実施
	津野町	宮谷地区	1,566	781	宮谷地区地域活性化事業 ①「おおわらじ」など地域資源の由来を説明する看板作成 ②地域を紹介するパンフレット作成等
	三原村	三原村商工会	2,200	1,100	三原村交流人口拡大プロジェクト ①どぶろくなど地場産品を掲載したホームページの作成 ②どぶろく祭りのポスター、チラシの作成
	宿毛市	同左	2,130	1,064	宿毛市キャンプ誘致事業 ①キャンプの開催を促進するためのピッチングマシン、グラウンド均しレーキの購入

1 観光資源の保護、発掘、育成の取組み事業一覧表

実施事業名	市町村等名	事業主体	事業費:千円	左のうち県費:千円	実施概要
自然共生課 こうちフィールドミュージアム支援事業 <平成17年度>	黒潮町	(特非)NPO 砂浜美術館	1,581	1,363	こうちフィールドミュージアム支援事業費 (幡多地域を対象に事業実施) ①大阪・東京にある旅行会社等へのプロモーション活動 ②幡多地域での観光客受入れのためのモニターツアーの実施 ③ツアー参加者へのアンケート実施による今後の活動の資料作成 ④各拠点の最新プログラムの整備 ⑤パンフレット作成などの情報収集と発信 ⑥地元関係団体代表者達による現状の共有化と今後の方向性に関する運営会議の開催
	香美市	情報交流館 ネットワーク	2,486	2,486	こうちフィールドミュージアム支援事業費 (幡多地域を除く地域を対象に事業実施) ①高幡地域等におけるモデル体験プログラムづくり ②各ブロックでの活動の活性化及びネットワークづくり ③インタープリター養成とインタープリターへの情報提供 ④ホームページの充実とネットワーク通信発行による情報発信
地産地消課 こうち体験ツーリズム 推進事業費 <平成18年度>	—	—	2,041	2,041	高知県内の農山漁村体験型ツーリズムを推進するため、体験ツーリズム実践者に対して受入の品質の充実・確保に向けた研修を行うとともに、研修の場を活用し県外客に対して高知県の体験型ツーリズムの楽しみ方の情報発信を行う。併せて県内の体験ツーリズムの発展段階に応じた研修を継続的に行える体制の整備を進める。
木の文化推進室 森の多面的利用推進事業 <平成17年度>	本山町	汗見川活性化推進委員会	1,361	1,361	休校施設と森林を含めた地域資源を活用した継続可能な体験交流の拠点づくりを進める。 ①山のめぐみプログラムの開発 ②指導者の養成 ③森の利用マップ作成
	馬路村	馬路村の森まるごと体験実行委員会	1,829	1,829	森林・林業、農業、農山村の文化など地域の資源を活用し、一般市民を対象とした様々な体験学習を受入れ、森林保全活動への参加、支援及び県産材の利用なども促進する。 ①山のめぐみプログラムの開発 ②指導者の養成 ③モニターツアーの実施 ④森の利用マップの作成
	四万十町	同左	474	230	森林の環境保全への参加や支援、県産材の利用など森林の有する多面的な役割の理解と森づくりに向けた県民の行動を推進する。 ①モニターツアーの実施
森の多面的利用推進事業 <平成18年度>	津野町	同左	2,594	1,229	森林セラピーを中心とした滞在型のグリーンツーリズムを推進するとともに、地域の受入団体である「森の拠点づくり実行委員会」の組織強化を図り、交流等を活性化する。 ①体験メニュー、滞在型メニューの開発 ②ガイドの育成 ③セラピーロードの整備 ④モニターツアーの実施

1 観光資源の保護、発掘、育成の取組み事業一覧表

実施事業名	市町村等名	事業主体	事業費:千円	左のうち県費:千円	実施概要
	四万十町	同左	747	360	<p>松葉川山等を活用したグリーンツーリズムを実践するプログラム作りやモニターツアーを行い、森林の有する多面的な役割の理解と森づくりに向けた県民の行動を推進する。</p> <p>①案内看板の設置や、地域伝承等の取りまとめ ②モニターツアーの実施</p>
	仁淀川町	同左	1,001	500	<p>仁淀川町の豊かな自然環境や文化に触れながら都市と地元の人々との交流が継続多岐なものとして受け入れられるようにグリーンツーリズムを推進し、交流人口の拡大を図る。</p> <p>①案内看板の設置 ②ガイドの育成 ③ルートマップ作成 ④モニターツアーの実施</p>
合計			112,207	60,744	

■スポーツ施設を活用してスポーツコンベンションを誘致しよう

1. 具体的な取組みと成果

プロスポーツについては、観光コンベンション協会が中心となって専門スタッフを配置し、プロ野球とJリーグのキャンプ誘致に取り組んできました。韓国プロ野球チームの春季キャンプの誘致にも成功し、プロゴルフツアーの県内開催などを本県に定着させるための取組みも行っています。このほか、国内最初のプロ野球独立リーグ「四国アイランドリーグ」についても支援を行い、交流人口の拡大に取り組んできました。

一方、アマチュアスポーツについては、交流人口の拡大とスポーツ施設の利用向上を目的として、高知県体に合わせて整備された各市町村のスポーツ施設を利用した大学生や社会人の合宿誘致や全国大会等の誘致に取り組んできました。

また、年間を通じたスポーツ観光客の誘客を促進するため「高知県ウォーキング協会」を観光コンベンション協会内に設置し、県民との交流促進を図りながら誘客の拡大に努めてきました。

実施事業名	事業費：千円 ＜うち県費＞	実施概要
スポーツ誘致事業 プロスポーツ誘致事業 アマチュアスポーツ誘致事業 ＜平成17年度＞	84,068 ＜84,068＞	＜事業主体＞：観光コンベンション協会 ・プロ野球キャンプ対策事業 ・プロサッカーキャンプ対策事業 ・プロゴルフ対策事業 ・スポーツコンベンション誘致事業
同上 ＜平成18年度＞	64,986 ＜63,441＞	

参考①＜プロスポーツキャンプの推移＞

		H15	H16	H17	H18	H19	
プロ野球	春	(1軍)	3	1	2	2	3
		(2軍)	2	3	3	3	3
	季	韓国プロ野球	—	—	—	—	1
	秋季	—	—	2	1	未定	
Jリーグ	春季	1	2	3	2	2	
	夏季	1	—	—	—	1	

②＜スポーツ合宿実績＞（宿泊施設へのアンケート調査集計による）

	H15	H16	H17	H18
団体数	181	254	471	521
延べ宿泊数	21,033	27,419	43,776	45,559

③＜スポーツコンベンション助成金支出実績＞

	H15	H16	H17	H18
活用団体数	12	16	30	23
延べ宿泊数	5,580	14,136	26,600	14,522

2. 今後の取組み

◎プロスポーツ誘致

- ・当面は、プロ野球の春季・秋季キャンプの定着と拡大に取り組み、特に経済効果の高い春季については、1軍3球団の定着と期間延長を目指します。併せて、韓国チームの誘致・定着にも取り組みます。
- ・Jリーグキャンプの誘致にも引き続いて取り組みます。
- ・プロゴルフツアーの本県での継続開催の支援を行い、定着に向けて取り組みます。
- ・四国アイランドリーグをはじめとする四国のプロスポーツ団体についても積極的に関わり、四国全体の交流人口の拡大と本県の地域活性化を推進します。

◎スポーツコンベンションの県内全域での受入拡大

- ・学生合宿の誘致にあっては、春季・夏季に期間が限定されており、中央地域の限られた施設に集中しているため、県内全域への拡大に取り組みます。
- ・社会人誘致は、開催期間が限定される学生合宿の合間での実施が可能なため、社会人チームの受入拡大を推進します。
- ・全国大会等の誘致は、底辺の広いアマチュアスポーツにおける可能性が大きいことから、各競技団体との連携による誘致活動の展開や、新しい大会の創設を関係団体等に働きかけます。
- ・年間を通じたスポーツ観光客の拡大のため、ウォーキング事業の拡大や冬季のパークゴルフ愛好者の誘客に取り組みます。

■高知フィルムコミッションを活用しよう

1. 具体的な取組みと成果

映画やテレビ番組等の撮影をスムーズに進めるため、平成16年11月に観光コンベンション協会内に支援を行うための組織である「高知フィルムコミッション」を設立しました。これにより問い合わせやロケ件数が増加しています。

○平成16年度：情報提供41件、ロケ16件

主なもの：映画〔ハルウララ〕、テレビ〔テレビドラマロケ〕、CM〔食品会社、不動産会社〕

○平成17年度：情報提供68件、ロケ29件

主なもの：映画〔MAZE、スイートドリーム一次ロケ〕、テレビ〔大河ドラマ一次ロケ、その他テレビドラマロケ〕、CM〔食品会社〕

○平成18年度：情報提供79件、ロケ24件

主なもの：映画〔スイートドリーム二次ロケ〕、テレビ〔大河ドラマ二次ロケ、その他テレビドラマロケ〕、CM〔食品会社、運輸会社、自動車会社〕

実施事業名	事業費：千円 ＜うち県費＞	実施概要
フィルムコミッション事業 ＜平成17年度＞	3,736 ＜3,736＞	＜事業主体＞観光コンベンション協会 ・ロケーションに対する許可申請手続きの補助、エキストラの手配、車両、宿泊、飲食等の企業紹介及び市町村との連携を実施 ・全国FC連絡協議会の委員会や総会に出席して情報収集を行うとともに制作会社に情報を提供 ・情報提供の最大のツールであるフィルムコミッションホームページを開設 ・ホームページの運営及びロケ地マップを作成（平成18年度）
同上 ＜平成18年度＞	4,978 ＜4,978＞	

2. 今後の取組み

◎高知ならではのロケ候補地の開拓

フィルムコミッション事業については、他県においても誘致に向けた体制づくりが進められており、競合が強まることが予想されます。関係市町村や地域の受入団体との連携を強化するとともに、魅力的な高知ならではのロケ候補地を開拓していきます。

◎四国内の連携の強化

平成16年3月に設立された、四国フィルムコミッション連絡協議会では、国及び4県が共同して四国内のロケ地活用の協議を進めています。今後より一層四国内の連携を強化してロケ地観光に取り組んでいきます。

■今ある観光資源の付加価値を高めよう

1. 具体的な取組みと成果

「土佐二十四万石博」の開催により、平成18年は高知城に、368,930人の観光客（平成17年155,674人・前年比237%）が訪れました。また、本年4月には、新たなイベント「高知城花回廊」を開催し、誘客効果の継続に取り組んでいます。

また、平成18年3月には閑散期における誘客に向けた新たな取組みとして、地域の食や文化などのイベントを集めた「土佐のおきやく」の開催や、本県を代表する観光資源である桂浜や日曜市などについての振興策の検討がなされました。

地域の各団体が一体となった取組みとして、国が募集する「観光地域づくり実践プラン」に四万十川広域観光推進協議会のプランが選定されました。

○「土佐二十四万石博」の開催と関連イベントの実施

大河ドラマ「功名が辻」の放送に合わせて、平成18年4月1日から平成19年1月8日までの283日間にわたり、高知城一帯の丸の内緑地と高知城、県立文学館の3会場で「土佐二十四万石博」が開催されました。期間中の入場者は614,155人となり、県外からもたくさんの観光客に来ていただくと同時に、全国に向けて高知を情報発信する機会となりました。

実施事業名	事業費：千円 <うち県費>	実施概要
土佐二十四万石博 (平成16～18年度)	419,587 <211,837>	<事業主体> 大河ドラマ「功名が辻」高知県推進協議会 ・大河ドラマ館建設、会場整備、運営経費等 ・県内受入事業、県外招致事業、広報事業等

○「土佐のおきやく」の開催

観光客数の落ち込む冬季の新たなイベントとして、高知の食・文化など土佐を感じることができるイベントを集めた「土佐のおきやく」が開催されました。

平成18年3月4日～12日 高知市内一円で30のイベントを開催

平成19年3月3日～11日 高知市内一円で36のイベントを開催

○「よさこい」の活用

- ・「よさこい」のブランド力を生かし夏休み期間中の誘客の拡大を目的として、高知市中心部の特別イベントが開催されました。
- ・よさこい祭り体験事業として「よさこいアベニュー」を開催し、県外観光客を中心に「正調よさこい鳴子踊り」の体験を実施しました。

- ・大河ドラマ「功名が辻」のテーマである夫婦愛にちなんで、全国から参加者を募集し、踊り子チーム「夫婦で踊ろう！よさこい夫婦連」として、よさこい祭りに参加しました。
- ・東京で開催されている「スーパーよさこい」など、県外で拡大しているよさこいイベントへの開催の協力を行い、知事賞の交付や後援団体となることによって、「よさこいの本家・高知」の普及に努めました。

○桂浜及び日曜市の活性化に向けた振興計画等の策定（高知市）

- ・桂浜の活性化及び誘客に結びつけるためのソフト・ハード事業を盛り込んだ「桂浜観光振興計画」が策定されました。
- ・日曜市など街路市の地元利用者や県外観光客の増加、販路拡大のための組織づくりやプランを整理した「活性化構想」が策定されました。

○四万十川観光実践プラン事業（国土交通省所管）

地域の各団体が一体となった観光まちづくりを支援する「観光地域づくり実践プラン」に、四万十川広域観光推進協議会が選定されました。（平成 16 年度）

○地域提案型雇用創造促進事業（厚生労働省所管）

地域における雇用創造を目的とした特産品づくりや人材育成など、観光産業との連携を目的とした「地域提案型雇用創造促進事業」に、四万十市・奈半利町が選定されました。（平成 18 年度）

○地域資源∞全国展開プロジェクト（経済産業省所管）

地域の資源を使った新たな製品の開発や全国的な販路展開、観光開発の取組みに対して幅広い支援を行う「地域資源∞全国展開プロジェクト」に、土佐清水商工会議所などの提案事業が採択されました。（平成 18・19 年度）

2. 今後の取組み

◎地域資源の活用

幕末から戦前までの本県の近代化を支えた産業遺産や本県の特異な地形・地質などの地質遺産を活用し、地域の観光振興と連動させる取組みを進めます。

◎花・人・土佐であい博の活用（再掲 P 14・15 参照）

◎意欲のある地域の支援（再掲 P 15 参照）

◎国の実施する事業の周知や活用を検討する団体等について、適切な助言と支援に努めていきます。

2 食文化の伝承、食の魅力を生かした取組み

<「ここでしか食べれんもん」でもてなそう>

1. 具体的な取組みと成果

郷土料理の伝承や情報発信について積極的に取り組むこととし、地域の食の達人として「土佐の料理伝承人」を選定しました。また、旅館・ホテル・飲食店においても、観光客へのPRを目的とした地域の食材を活用したイベントやフェアの開催、「食」に関する協働を目的とした生産者と消費者との交流を促進するためのコーディネート場を創出しました。

こうした取組みの成果として、地域では「食」を切り口にした旅行商品の造成、旅館・ホテルでは地域の名前を冠にした食フェアの定期的な開催、飲食店では「高知の野菜ソムリエがお勧めする野菜で元気店」への参加など、地域の食文化を発信し地域の食材を積極的に活用しようとする動きが広がり始めています。

■食を楽しむ場を工夫しよう

(1) 土佐の料理伝承人による食文化の普及・啓発

地域の郷土料理について卓越した知識・技術を持ち、伝承活動に取り組んでいる団体・個人を「土佐の料理伝承人」として選定し（平成19年3月末現在：伝承人選定数27団体・個人）、「土佐の料理伝承人カタログ」の作成や、ホームページのコーナーの新設を行うなど、県内外へ情報発信をしています。併せて、「観光びらき」等への出展など、土佐の料理伝承人が一堂に会して本県の多様な食文化を発信しました。

実施事業名	事業費：千円 <うち県費>	実施概要
地産地消推進事業 <平成17年度>	2,002 <2,002>	<事業主体>高知県 ・土佐の料理伝承人選定 ・土佐の料理伝承人活動資材作成 ・「土佐の料理伝承人が伝える高知の食文化」開催 ・土佐の料理伝承人カタログ ・ホームページのコーナー新設
同上 <平成18年度>	338 <338>	<事業主体>高知県 ・土佐の料理伝承人選定 ・土佐の料理伝承人活動資材作成 ・「2007 おらんくの旨いもん自慢大会」開催 ・ホームページの情報更新

(注) 決算額は、土佐の料理伝承人選定及びホームページ関連の経費を除く。

(2) 地域の特性を生かした食の取組み

- 農林漁家レストランの取組みの拡大により、地元食材を生かした田舎料理を提供する施設数が増加（平成 18 年度末：41 店舗）
- 室戸調理師会が旬の地元食材を使用した「春つげ御膳」など地域・季節限定の食のメニューを提供するなど、統一テーマを持った料理を提供（年間 3 回企画）。また、地域の名称を募集して「室戸味咲横丁」と決定し、飲食スポットを広く紹介（平成 17 年度～室戸市）
- 酒蔵見学と家庭料理を楽しむ「佐川を味わう風土・FOOD」の開催（佐川町）
- 農業、健康づくり、食育を進める地域づくり団体や観光関係者が集い、「地域まるごと！津野町の食材を使おう料理レシピ集」を作成（平成 18 年度 津野町）
- 高知県立歴史民俗資料館では、県内各地の郷土料理と食に関する地域の文化や歴史について学ぶ講座「高知の食文化を味わう」を定期開催（平成 18 年度から毎月）
- 海・山の食材を活用した郷土料理を取入れるため、農家レストランの経営者を招いての研修会「食の達人育成研修」を開催（平成 18 年度 奈半利町）
- 地域で採れた食材で、地域のおばあちゃんたちの料理方法により作られ、食べられている料理を復元し後世に伝える取組みを推進（四万十川広域観光推進協議会）

■食に関する協働をすすめよう

- 地産地消の取組みに賛同し率先して実践される方々として登録いただいている「おいしい風土こうちサポーター」の活動を促進するため、NPO 法人との協働による商談会・交流を開催
- 観光びらきパーティへの参加
観光びらきにおいて、土佐の料理传承人と観光関係者が連携し、郷土料理・食文化を味わう機会を提供
- 産地（生産者）とホテルの協働による食フェア（産地応援企画）
 - ・土佐の清水の活さばランチパーティ
 - ・土佐はちきん地鶏ランチパーティ
 - ・土佐はちきん地鶏まるごと食べちゃうぞパーティ

■「ここでしか」「今しか」にこだわって「食」を提供しよう

- 特産の柚子を使った「田舎寿司体験ツアー」の企画（北川村・馬路村）
- 歴史と食文化を味わう旅行商品の企画（北川村）
- 特産のちりめんじゃこや土佐ジローを活用したメニューの提供（安芸市）
- 土佐山内家に伝わる参勤交代道中弁当「春霞」の提供（大豊町）

- 地元食材を使った田舎料理を提供する施設を組み込んだツアーの企画（南国市）
- 宇佐大鍋祭りにおいてアサリ汁やかつおのタタキの実演販売（土佐市）
- うどの収穫体験や山菜料理の食事会の実施（仁淀川町）
- 食文化（かつおを食べる・作る・「おきゃく」を体験する）と町歩きを柱とした旅行商品の企画（中土佐町）
- 地域の食材を生かした料理と体験メニューを組み合わせた「おもてなしツアー」と「四万十の食シリーズ」の開催（四万十町）
- 「四万十川の鮎」を使ったメニューの商品化（四万十町（旧：大正町））
- 「濁酒特区」を利用したどぶろく祭りの開催（三原村）
- 冬の味覚「マンボウ」料理の商品化に向けた検討（土佐清水市）
- 薬膳料理と地域の観光スポットを組み合わせた旅行商品の造成（土佐くろしお鉄道運営協議会）

■高知ならではの食の魅力を発信しよう

○観光物産展の開催

観光コンベンション協会が、高知県特産品の販路拡大と消費の促進を図るなど産業振興を目的として、単県又は4県等が主体となった観光物産展を全国各地で開催しました。

（参考）平成17年度の主な催事 29箇所 売上総額 220,770千円

平成18年度の主な催事 29箇所 売上総額 226,005千円

○土佐二十四万石博「ふるさと交流市」の開催

市町村の協力により週替りで特産品の販売提供を行いました。それぞれの地域の特色を生かした地場産品が並んだことで、市町村のPRにもつながりました。

○「おいしい風土こうち」ホームページにおいて農林漁業体験民宿や農林漁家レストランを紹介

○野菜の産地としての認知度を向上し、消費の拡大を図るための「高知野菜出前授業」の実施

○高知の野菜ソムリエが勧める飲食店などを「野菜で元気店」として選定し、パンフレットによるPRの実施

○東部地域の食の情報を、『高知東海岸100物語「ごちそう三昧！」』としてとりまとめ、パンフレットによるPRの実施

○県内及び県外への情報発信を目的として食に関連したイベントの開催

- ・県内ホテルでの室戸うまいものパーティ、四万十町フェア、嶺北フェア、中土佐町フェア、土佐の清水の活さばランチパーティ（再掲）、土佐はちきん地鶏ランチパーティ（再掲）、土佐はちきん地鶏まるごと食べちゃうぞパーティ（再掲）の開催
- ・県外のホテルでの「うまいもん高知」フェアや「おいしい風土（フード）高知県フェア」の開催

- ・南国土佐皿鉢祭の開催
 - ・県内で開催されたプロゴルフツアーでの郷土料理等の提供
 - ・須崎の新鮮な魚などの紹介と消費拡大を目的とした「海の駅 須崎の魚祭り」の開催（須崎市）
 - ・高知で生産される食材の情報を県内外の消費者に向けて発信することを目的とした食のまつり「おいしい風土ピアこうち」の開催
- 「土佐の料理伝承人が伝える高知の食文化」の開催（再掲P26 参照）
 - 「2007 おらんくの旨いもん自慢大会」の開催（再掲P26 参照）
 - 郷土料理や地域食材を使ったテレビ番組や雑誌取材への積極的な協力による情報発信
 - 郷土料理と地域の食文化を学ぶ「高知の食文化を味わう」講座の開催（再掲P27 参照）

2. 今後の取組み

◎花・人・土佐であい博の活用（再掲P14・15 参照）

◎マスメディア等への情報提供と積極的な情報発信

農林漁家レストランや農林漁業体験民宿など、地域ならではの食事を提供する施設の積極的な情報を発信していきます。

◎高知のものを使おうとする実需者側の意識の醸成

ホテル・旅館・飲食店において、高知の旬を意識したメニューづくりに取り組んでいきます。

◎高知のものを使ってもらおうとする生産者側の意識の醸成

- ・いつ、どこで何が穫れるのかといった生産情報や販売方法など、食材に関する情報の提供と出荷（受注）態勢づくりを進めていきます。
- ・生産者からの情報発信「おひさまの味 高知野菜 ～生産者からのラブレター～」ランチパーティを開催します。

◎おいしい風土こうちサポーター活動（交流）の活性化

サポーター（生産者、実需者）相互の情報交換やマッチングを活発に行う仕組みづくりを進めていきます。

3 地域の産業と連携する取組み

<「皆が「得」する観光にしよう」>

1. 具体的な取組みと成果

農山漁村と都市との交流を目的としたグリーンツーリズムの動きが広がっており、農産品等を販売する直販施設数や販売額も増加しています。地場産品を生かした土産品等の開発として「土佐宇宙酒」の製品開発や全国展開に向けた取組みが行われました。また、「土佐二十四万石博」に合わせて開催した「ふるさと交流市」や、県外で開催した観光物産展においては、地域の特色を生かした地場産品の販売やPRを実施しました。

様々な観光資源を組み合わせた取組みとして、業種を超えた新たなイベント「土佐のおきゃく」が開催されるなど、観光事業者と地域が一体となった取組みも出てきました。

■県民みんなが関われる仕組みをつくろう

- 農林漁業体験民宿の開業と農林漁家レストランの増加（再掲P 13、27 参照）
- 体験型観光に取り組む地域の増加・ネットワークの促進（再掲P 13 参照）
- 生産者との交流や農業体験を目的とした「棚田農村農業体験交流」の実施（土佐町・本山町）

■地域の産業従事者が関われる仕組みをつくろう

○宇宙酒プロジェクト

世界で初めて宇宙を旅した酵母を使った日本酒「土佐宇宙酒」を実現（高知県宇宙利用推進研究会：高知県・高知県産業振興センター・高知大学・高知工科大学・県内企業の有志が参加）

○地域資源∞全国展開プロジェクト（経済産業省所管）

地域の資源を使った新たな製品の開発や全国的な販路展開、観光開発の取組みに対して幅広い支援を行う「地域資源∞全国展開プロジェクト」に、土佐宇宙酒全国展開事業など合計6件が採択されました。（平成18・19年度）

<平成18年度>

- ・土佐宇宙酒全国展開事業（高知商工会議所）
- ・観光開発と特産品開発のモデル事業（土佐清水商工会議所）
- ・都市から地方への交流移住サービス産業創出のための地域コンシェルジュサービス構築事業（芸西商工会）

<平成19年度>

- ・完全・天然・天日塩を使って自然“土佐料理”を全国へ（黒潮町商工会）
- ・土佐珊瑚ブランド全国展開事業（高知商工会議所）
- ・四万十・山川海プロジェクト（地域資源を活かした新観光産業の構築）（中村商工会議所）

○農林水産物を販売する直販施設の店舗数と販売額の増加

直販施設 平成 16 年度 125 箇所 年間販売額 59 億円

平成 17 年度 135 箇所 年間販売額 63 億円 (※平成 18 年度は調査中)

○観光物産展の開催 (再掲 P 28 参照)

○日曜市の活性化に向けた振興計画等の策定(再掲 P 25 参照)

○土佐二十四万石博「ふるさと交流市」の開催 (再掲 P 28 参照)

○西南地域における農林水産物等の資源を活用した「地域ブランド」創出の取組みについて、県の試験研究機関等による技術支援を実施しています。

- ・宗田節を利用した新商品の開発
- ・地域農水産物等を利用した特産加工品の開発
- ・宿毛特産芋焼酎の開発

○地域の製品のオーナー制度や商品化に向けた取組み

- ・特産品であるラッキョウを加工した商品「はまびじん」の販売 (香南市)
- ・養殖コンブの種付けや収穫を行う「こんぶ美人」オーナー制度の実施 (中土佐町)
- ・かつおのタタキの実演出張販売や特産品のウェブショップによる販路開拓 (中土佐町)
- ・「四万川田んぼオーナー制度」の実施 (梶原町)

○「ゆずの森加工場」の整備や地域の特産品であるゆずを活用したイベントの開催 (馬路村)

○農林水産物を活用した新製品の開発、生産加工、普及宣伝等商品を販売し、特産品としていく団体に対して助成金を交付 (安田町)

○「しおかぜ公園」の利活用について、地域産業連携による観光客の受入れメニュー作りを実施し、土曜市の充実について検討 (土佐市)

○「海の駅 須崎の魚祭り」の開催 (須崎市) (再掲 P 29 参照)

○特産の仁井田米の米粉を原料に使った「仁井田米カステラ」等の販売 (四万十町)

○「濁酒特区」を活用したどぶろくイベントの実施や飲食店での提供 (三原村) (再掲 P 28 参照)

■遊・食・泊の楽しい連携を進めよう

○「土佐のおきやく」の開催(再掲 P 24 参照)

- 「よさこい」の活用(再掲P24 参照)
- 室戸ディープシーワールドのオープンを契機に宿泊業者の連携による滞在型観光の検討 (室戸市)
- 夜の観光スポットとして「高知城迫手門のライトアップ事業」を実施 (高知県)
- 観光PRと商店街活性化を目的とした「まちの駅」のオープン(高知市)
- 地域と宿泊事業者が一体となった「ホテル鑑賞ナイトツアー」の実施 (高知市)
- 牧野富太郎博士ゆかりの花をモチーフに商店主や地元高校生が中心となって、商店街のシャッターペイントを実施 (佐川町)
- 観光情報の紹介やクーポン券の利用できる地域情報誌の発行 (須崎市)
- 交通事業者と周辺施設等の連携によるスタンプラリーの実施
 - ・「来てみてラリー」(ごめん・なはり線活性化協議会)
 - ・「発見!こうちスタンプラリー in まんなか高知」(高知中央広域市町村圏事務組合)

2. 今後の取組み

- ◎花・人・土佐であい博の活用 (再掲P14・15 参照)
- ◎グリーンツーリズムによる地域づくりの推進 (再掲P15 参照)
- ◎高知県産業振興ビジョンの方向性に沿った取組み

4 観光施設、観光サービス施設、交通基盤等の整備を促進する取組み

<観光客にとって便利で優しい施設やサービスを整備しよう>

1. 具体的な取組みと成果

四国横断自動車道をはじめとする交通基盤の着実な整備を進めています。また、観光地間の移動を快適なものとするために二次交通の整備に取り組むとともに、観光客の利便性や満足度の向上を目指して、観光入込客の集中する時期には臨時観光案内所を設置しました。

新たなもてなしの仕組みづくりとして、コンビニエンスストア等での観光情報や道路情報の提供、お遍路さんを温かく迎えるための「民間接待所」を設置する地域が出てきました。

交流人口の拡大に向けた地域の受入態勢の整備を目的として、地域の体験交流施設を整備しました。

■便利でわかりやすい取組みを進めよう

○観光客の利便性の向上のため、観光ルート上に設置している案内板等の維持修繕を実施

実施事業名	事業費：千円 <うち県費>	実施概要
観光基盤施設整備事業 <平成17年度>	2,850 <2,850>	<事業主体>高知県 町歩き案内板設置工事1基、路面観光案内表示設置工事41ヶ所(土佐二十四万石博会場案内用) ほか
同上 <平成18年度>	10,235 <10,235>	<事業主体>高知県 広域観光案内板盤面改修工事13基 歓迎看板撤去工事1基 ほか
観光客歓迎看板等 設置事業 <平成17年度>	1,518 <1,518>	<事業主体>観光コンベンション協会 高知龍馬空港内歓迎看板
同上 <平成18年度>	670 <670>	

○ 観光客へのサービスを向上させるため、観光客の集中するゴールデンウィークやよさこい祭り期間中に、立川パーキングエリア等に臨時的観光案内所を設置し、観光情報や宿泊施設情報、駐車場情報、渋滞情報などを提供しました。

実施事業名	事業費：千円 ＜うち県費＞	実施概要
観光案内所設置事業 ＜平成 17 年度＞	562 ＜562＞	<p>＜事業主体＞観光コンベンション協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴールデンウィーク期間の臨時観光案内所の開設 場所：立川 P A、高知城、高知駅、高知龍馬空港 ・よさこい祭り期間の臨時観光案内所の開設 場所：高知駅、秦競演場
同上 ＜平成 18 年度＞	796 ＜796＞	<ul style="list-style-type: none"> ・客船入港臨時観光案内所支援 場所：高知港 ・プロ野球スプリングキャンプでの臨時観光案内所開設 場所：高知東部球場

- 四万十花まつりキャンペーンでの「菜の花接待所」の設置（四万十市観光振興連絡会議）
- 高知中央地域内の交通機関の情報を携帯電話から入手できる「スマートモビリティ高知」（公共交通情報サイト）の新システム運用開始（平成 17 年 4 月：国土交通省土佐国道事務所）
- 高知市中心部の商店街や観光の情報を集めたタウンマップのリニューアル作成（平成 18 年 1 月：高知商工会議所）
- 土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線の時刻表と沿線の観光案内をまとめた小冊子の作成（NPO 法人ごめん・なはり線を支援する会）

■ 優しくてホッと安心できる取組みを進めよう

- お遍路さんを温かく迎えるためのサービス体制づくり
 - ・高知龍馬空港内に「お遍路もてなしコーナー」を設置（高知空港ビル株式会社）
 - ・利用可能な公共交通機関の情報やコース周辺の観光情報などを盛り込んだホームページを作成（国土交通省四国運輸局）
 - ・公衆トイレの場所を記したマップの作成（国土交通省土佐国道事務所）
 - ・トイレ施設の提供や道案内に応じる簡易接待所の取組みを開始（土佐清水市）
- 今後の観光サービスのあり方について「まち全域がサービスエリア構想」（SAT 構想）を策定（須崎市）
- 津野町観光案内ネット会議による観光客のもてなしの態勢づくり（津野町）
コンビニエンスストアやガソリンスタンドでの観光案内や道路情報の提供

■ 親切なもてなしができるような施設整備を進めよう

- 体験型観光の推進に必要となる施設の整備や廃校となった学校施設の宿泊施設としての活用など、地域の交流拠点の整備が進められています。

県の実施した事業の内容については、P 38～39 を参照

■サービスの行き届いた交通基盤を整備しよう

(1) 交通基盤の着実な整備

早期の供用を目指して、四国横断自動車道をはじめとする四国8の字ネットワークの整備を進めています。

(2) 二次交通の整備

観光客の利便性、満足度を向上させて、観光地間の移動を快適なものとするために空港や主要な駅から観光地を結ぶ二次交通の整備を進めました。

○MY遊バスの運行

観光コンベンション協会が、ゴールデンウィークや夏休み期間中などに周遊バスを運行しています。一定の限られた地域をカバーするものでその効果が限定されていることや、路線を増加させることは経費的に困難などの課題があります。

実施事業名	事業費：千円 <うち県費>	実 施 概 要
二次交通整備事業 <平成 17 年度>	36,001 <25,860>	<事業主体>観光コンベンション協会 ① MY遊バス (五台山・桂浜コース) H17 利用人数 24,588人 運行日数 202日間 H18 " 20,281人 " 155日間 ②MY遊バスわくわく号 (龍河洞・アンパンマンミュージアムコース) H17 利用人数 2,247人 運行日数 111日間 H18 " 2,235人 " 88日間
同上 <平成 18 年度>	29,601 <21,174>	③MY遊バス 四万十周遊バス (中村駅～江川崎駅コース) H18 利用人数 537人 運行日数 50日間

○土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線とボンネットバスを組み合わせた「自然・田舎体験ツアー」を開催しています。(安芸広域市町村圏事務組合)

○観光シーズン中の観光客の交通手段を確保するためボンネットバスを購入し、トロッコ列車等との連携を図っています。(四万十市)

(3) 観光客の公共交通機関の利用促進に向けた検討等

国土交通省四国運輸局では、四国地方交通審議会の答申「四国の運輸のあり方」に基づき、関係者の参加による公共交通活性化総合プログラムの具体化に向けて検討をしました。

○平成 17 年度 観光と中心市街地と交通の一体化による地域活性化事業

- ・高知市周辺の交通機関の路線図・時刻表と観光案内を組み合わせた「高知散策乗り物マップ」を作成

○平成 18 年度

- ・東部地域の公共交通の利便性の向上や観光振興との連携を深めるために「高知東海岸地域活性化検討委員会」を開催
- ・宿毛市と愛媛県宇和島市、愛南町の公共交通の利便性の向上と豊かな地域資源を活用した観光周遊ルートや周遊共通パスについて検討するためのモニターツアーを開催し、周遊ルート「四国さいはて 海の絶景」として商品化
- ・高知市内の主要な交差点に記号化標識を設置し、観光客の移動支援を図る「高知県交差点記号化プロジェクト」を実施

(4) 旅行商品の造成

- 九州地域からの誘客を目的として、宿毛フェリーを活用した旅行商品や閑散期となる冬季の本四高速を利用する募集型企画旅行商品に対して助成を実施（観光コンベンション協会）

2. 今後の取組み

◎おもてなし県民会議でのアクションプランの策定

おもてなし県民会議において、観光客の満足度向上のために実施する県民運動の具体的な展開を内容とするアクションプランを策定します。

◎観光案内板やトイレ施設のあり方の検討

観光客の満足度の低い、観光案内板や誘導標識、公共トイレの整備の方針を検討します。

◎観光案内態勢の充実

ゴールデンウィークやよさこい祭り期間のほか、県内で開催されるイベント・大会での臨時観光案内所を設置します。

◎二次交通の対策の検討

- ・MY遊バスの運行については、効率性や有効性を検証しながら運行形態の検討と利用促進を図ります。
- ・他県では、二次交通対策として駅から観光地を巡る安価な観光タクシー制度をつくった事例も見られます。また、お客様同士をペアリングして一人当たりの利用単価を下げることによって利便性を向上させる、乗合い観光タクシー制度について検討をしていきます。
- ・また、本県は東西に広いという地理的特性があることから、県内ではレンタカーを利用していたくため、手軽に借りられ、乗捨てることのできるサービス態勢の構築に向け、関係事業者

の理解と協力を得ながら取り組みます。

◎ビジターセンターの設置誘導

- ・観光案内の態勢づくりとして、県内各地への「ビジターセンター」の設置に取り組みます。
- ・各ビジターセンターと県、観光コンベンション協会、市町村との情報共有の仕組みを構築していきます。

4 観光施設、観光サービス施設、交通基盤等の整備を促進する取組み事業一覧表

実施事業名	市町村等名	事業主体	事業費:千円	左のうち県費:千円	実施概要
地域づくり支援課 元気のでる市町村総合補助事業 <平成17年度>	栲原町	やなぎばた会議	23,674	11,837	上舞体験施設整備事業 ①紙すき体験や農家民宿のための施設整備
	安芸市	同左	10,500	5,000	登り窯建設事業 ①内原野公園内への登り窯の建設
	物部村	庄谷相地区	1,799	899	塩の道「桜公園」休憩施設整備事業 ①休憩施設(東屋)1棟の建設 ②トイレの設置
	南国市	同左	3,488	1,743	「ありがとう駅」歌碑設置、しょうがキャラクター着ぐるみ製作事業 ①ありがとう駅の歌碑の作成・設置 ②ベンチの設置
	窪川町	同左	9,845	4,922	興津青少年旅行村バンガロー設置 ①バンガロー2棟設置
	須崎市	ドラゴンカヌー大会実行委員会	3,771	1,885	ドラゴンカヌー施設整備事業 ①ドラゴンカヌー陸上練習場整備
元気のでる市町村総合補助事業 <平成18年度>	北川村	同左	40,000	20,000	北川温泉リニューアル事業 ①北川温泉の改修
	津野町	同左	88,400	44,200	風の里公園整備事業 ①風の広場、展望施設、昆虫の森、遊歩道等の整備
	香美市	「塩の道」香美市保存会	1,098	488	塩の道整備事業 ①簡易トイレ・看板設置 ②ガイドブック作成
	四万十市	同左	33,899	16,540	佐田地区交流施設等整備事業 ①東屋(交流家屋) ②公衆トイレの整備等
	安芸市	同左	2,472	1,235	畑山温泉改修事業 ①温泉施設の改修
	香美市	同左	36,488	17,531	あったかいWa 平山交流施設整備事業 ①体験宿泊交流施設の整備
	四万十市	奥屋内下地域おこしの会	2,608	1,250	集会所を中心とした地域活性化事業 ①浴場設備の整備 ②備品購入(布団、冷蔵庫、洗濯機、炊飯器)
	津野町	三和環境ふれあい里づくりの会	3,973	1,986	三和環境交流の里づくり事業 ①四万十自然・ふれあい公園の整備(東屋、ベンチ、案内板、遊歩道)
	仁淀川町	同左	4,757	2,200	平成18年度しももの郷改修事業 ①体験交流施設改修
	黒潮町	同左	4,254	2,126	蛸川地域づくり小学校体験交流促進事業 ①体験宿泊交流施設の整備

4 観光施設、観光サービス施設、交通基盤等の整備を促進する取組み事業一覧表

実施事業名	市町村等名	事業主体	事業費:千円	左のうち県費:千円	実施概要
自然共生課 自然公園施設等整備事業 <平成17年度>	室戸市	同左	37,234	16,000	管理棟1棟(木造平屋建)63㎡ 展望台(木造)20.3㎡ H=9.3m
	室戸市	同左	3,703	3,703	遊歩道のバリアフリー化 L=126m
自然公園施設等整備事業 <平成18年度>	室戸市	同左	3,680	3,680	遊歩道のバリアフリー化 L=55m
海洋深層水対策室 室戸海洋深層水体験施設等整備事業 <平成16~18年度>	室戸市	同左	1,410,570	591,540	室戸海洋深層水のブランド力の向上、観光振興のために室戸市が設置した海洋深層水体験施設等(ディーブシーワールド)の整備に要する経費について補助を行った。 <施設概要> ・開業:平成18年7月1日 ・バーデハウス室戸:深層水プール、レストラン等 ・公園:3.6ha
室戸海洋深層水タラソテラピー施設整備事業 <平成18年度>	室戸市	(株)ウトコ ディーブシーテラピー	948,640	150,931	室戸海洋深層水のブランド力の向上及び観光の拠点として県東部の活性化や雇用の確保を図るため、室戸海洋深層水を利用したタラソテラピー施設の建設等に要した経費に対し補助を行った。 <施設概要> ・開業:平成18年7月13日 ・施設名称:ウトコディーブシーテラピーセンター&ホテル ・施設内容:タラソテラピー棟、ホテル、レストラン
室戸いやしの里環境保全対策交付金 <平成18年度>	室戸市	同左	40,000	15,000	室戸市ディーブシーワールドの環境保全等のために室戸市が設置した基金の積立に要する経費に対して交付した。 基金総額:40,000千円
漁港課 漁村コミュニティ基盤整備事業 <平成17年度>	土佐清水市	窪津漁協	46,600	4,660	当該地区の交流拠点として、新鮮な魚介類等を提供する地域産物販売・提供施設の整備を行い漁村地域の活性化を図るため補助を行った。 地域産物販売・提供施設[海鮮館 大漁屋]の建設 木造2階建て建築面積117.5㎡
漁村コミュニティ基盤整備事業 <平成18年度>	中土佐町	上ノ加江漁協	59,000	5,900	体験交流施設を整備し、交流人口の拡大と漁業者の生活改善を図るため補助を行った。 総合交流施設[わかしや]の建設 鉄骨造2階建て建築面積191.9㎡
合計			2,820,453	925,256	

5 生活環境の美化、景観保全の取組み

<「地域ぐるみで美しい景観づくりをめざそう」>

1. 具体的な取組みと成果

「あったか高知観光条例」の理念である県民一人ひとりが観光振興の担い手として観光客をもてなすことの具体的な実践のひとつとして、県内の主要拠点への花の植栽やプランターの設置など「花によるもてなしの仕組みづくり」に取り組んでいます。また、環境や景観の保全に対するそれぞれの地域の課題に対応するため、市町村等が実施する活動に対して支援を行いました。

持続可能な観光地づくりを目的とした四万十川条例に基づく開発制限についての基準を定めるとともに、四万十市西土佐黒尊地域では、人と自然の共生する地域づくりのための協定が締結されました。また、東部地域の古い街並みを生かした観光地づくりや、大月町柏島地域では、海と人との共存を目指した「里海づくり」を提唱したエコツーリズムの実践など、景観を生かした取組みも進められています。

■県民みんなで環境保全や景観保護に取り組もう

○花・人・土佐であい博の開催を通じたもてなしの仕組みづくり

- ・ 県外からの主な交通アクセス拠点等へのプランターの設置や花の植栽を行い、市町村や地域住民との協働により、もてなしのこころを「花」で表すことに取り組んでいます。
- ・ 高知駅や高知龍馬空港など玄関口となる場所に花のモニュメントを配置
- ・ 地域で数年にわたって、自主的に花づくりの活動に取り組み、美しいまちづくりやうるおいのある地域づくりに貢献していると認められる住民又は団体を表彰しています。
- ・ 花のまちづくり活動の成果や、県内の様々な花の魅力を紹介するマップを作成
- ・ 観光地の彩りや花の見所として有効な場所を「花のビューポイント」として整備

○四万十川条例の推進

- ・ 四万十川流域の保全と振興を目的として制定された四万十川条例に基づいて、保全のための重点地域を指定し、民間事業者等の一定の行為については、知事の許可を必要とする許可制度を施行しました。
- ・ 共生のモデル地区として、黒尊川流域の人と自然が共生する地域づくり協定が締結され、持続可能な観光地づくりに向けた取組みをスタートさせています。

○地域が主体となった観光地での美化活動の実施

地域の住民ボランティア団体が主体となって、観光地におけるゴミの撤去や一斉清掃を実施しています。

- ・ 室戸スカイラインや横浪黒潮ラインに不法投棄されたゴミの撤去

- ・「菜の花の植栽」と室戸岬周辺の一斉清掃
 - ・南国土佐観光びらき清掃
 - ・8月に開催される「道路ふれあい月間」に合わせ、観光地や観光ルートでの観光事業者や商店街などが連携した清掃活動の実施（88クリーンウォーク四国実行委員会）
 - ・須崎市のシンボルロードや富士ヶ浜清掃活動
- 環境の保全等に関する地域の課題を解決するために、市町村等が実施する事業を総合的に支援しています。

県の実施した事業の内容については、P43～45を参照

■美しい景観を生かした観光に取り組もう

- 高知東海岸町並みネットワークの設立
 - ・県東部地域における古い街並みの保存や案内に取り組む団体同士のネットワークの場として、高知東海岸町並みネットワーク会議が設立され、街並み保全やひな祭りイベントを実施
 - ・吉良川の街並みの歴史的景観の保全を図るための保存事業の実施（室戸市）
- 四万十かいどうの取組み

地域で育んできた風景や街並み、遍路道や自然景観を生かしたイベントの開催やモデルコースを選定（四万十かいどう推進協議会）
- つるの里の復元

四万十川流域に飛来し越冬していた“つる”についての地元の小中学生を対象にした学習会の開催や、国の支援を受けて餌場やねぐらの整備の活動を実施（四万十川広域観光推進協議会）
- 高知城やその周辺の景観保護を目的とした、建物の高度規制区域の拡大に向けた検討の実施（高知市）
- 季節ごとの花（菜の花・桜・藤・あじさい）をテーマにした四万十花まつりキャンペーンの実施（四万十市）（再掲P34参照）
- 海と人との共存を目指した「里海づくり」の推進によるエコツーリズムの実施

「風景を活かした地域づくりフォーラム」や、タバコ畑を利用した「大月コスモスまつり」の開催（大月町）（再掲P13参照）

2. 今後の取組み

- ◎花・人・土佐であい博の取組み

地域住民や企業等に積極的に働きけることで、花のもてなしのシステムを県民運動として浸透させていきます。
- ◎県内観光地一斉美化運動の推進

- ・ 県内の観光地・観光ルート上での美化活動や景観保護の取組みを進めていきます。
- ・ 88クリーンウォークとタイアップした観光地や観光ルートでの美化活動を促進していきます。

◎四万十川条例の取組みの拡大

- ・ 沈下橋や棚田などの生活文化財産を後生に継承し、優れた景観を保全するため、流域市町村の重要文化的景観選定に向け支援していきます。
- ・ 国や四万十川流域市町と連携して、流域の振興のための方針等を盛り込んだ「四万十川流域振興ビジョン」を策定します。
- ・ 四万十川条例に基づく取組みをモデルとして、仁淀川、物部川、吉野川等の取組みに生かしていきます。

5 生活環境の美化、景観保全の取組み事業一覧表

実施事業名	市町村等名	事業主体	事業費:千円	左のうち県費:千円	実施概要
循環型社会推進課 豊かな環境づくり総合 支援事業 <平成17年度>	四万十市	同左	12,587	6,293	トンボ自然公園用地購入事業 トンボ自然公園内の民有地の購入を行い、公園の持続的な生態系保全を図るとともに、計画地域内の地権者や市民の環境保全に対する理解を深めることを目的とする。 ①トンボ公園内の民有地の取得の実施
	土佐清水市	同左	200	100	竜串湾オニヒトデ等駆除事業 竜串海中公園地区のサンゴ礁景観の保護、美しい景観や環境資源の保全を行った。 ①サンゴ礁の監視、観測の実施 ②オニヒトデ等の駆除の実施
	土佐清水市	同左	2,400	1,200	国立公園清掃活動事業 足摺宇和海国立公園の重点地域内(足摺岬・竜串・見残し)の美化清掃を実施し、自然環境を清潔に保持する。 ①清掃活動の実施
	土佐清水市	同左	1,000	500	竜串湾サンゴ再生事業 竜串海中公園地区のサンゴの再生及び竜串の美しい景観や環境資源の保全に努める。 ①岩礁上部にサンゴ移植を実施 ②サンゴ上の泥土除去・海底清掃 ③ガンガゼ・ナガウニ等の駆除
	宿毛市	同左	307	153	足摺宇和海国立公園沖の島海中公園オニヒトデ等駆除事業 足摺宇和海国立公園沖の島海中公園内におけるサンゴのオニヒトデ等による食害を防ぎ、サンゴ礁景観を保護した。 ①オニヒトデ等の駆除の実施
	津野町	森の巣箱運営委員会	219	100	ホタル祭り等の実施 津野町床鍋地区を昔のような自然あふれる「ホタルに逢える里」として再生するため、ホタルが生息できる環境づくりを行うとともに、ホタルを通じて自然環境への意識の高まりなどの啓発活動を行った。 ①ホタル祭りの実施 ②ホタルの生態調査 ③ホタルが生息できる環境整備
	安芸市	同左	1,720	860	内原野延寿亭修景事業 歴史的にも価値のある内原野公園と延寿亭の貴重な景観を保全し、その美しい環境を保全・継承するため、地域住民の自主的な保全活動とも連携して、公園全体のさらなる魅力化につなげた。 ①延寿亭の屋根修景工事の実施
	宿毛市	清流と桜の会	3,093	1,500	桜植樹事業 松田川左岸堤に桜を植樹し、その維持管理を中心とした緑化推進活動を通じて、自然環境の保全、地域住民のコミュニティー意識の醸成及び都市と農村との交流の推進を図った。 ①桜植樹の実施(149箇所)
	土佐市	同左	1,979	989	環境美化ボランティア推進員による河川等の清掃作戦 河川周辺地区での清掃活動を行い不法投棄物撤去など大規模清掃を実施することで市民一人ひとりがルールを守り環境美化意識の向上、ごみのない美しく住み良いまちづくり運動を推進することを目的として実施した。 ①河川清掃の実施(宇佐地区、高岡市街地)

5 生活環境の美化、景観保全の取組み事業一覧表

実施事業名	市町村等名	事業主体	事業費:千円	左のうち県費:千円	実施概要
	大月町、仁淀川町	いきいきわくわく体験活動実行委員会	442	221	いきいきわくわく体験活動 子供達に海や山の自然に関心をもたせ、日頃、自分達が生活する地域の自然環境の大切さを知るために、生活環境の違う海辺の地域を訪問する体験学習事業の実施。 ①海辺のフィールド体験学習を実施 ②森林学習(間伐体験、ツリーハウスづくりなど)、そばづくり体験活動の実施。
豊かな環境づくり総合支援事業 <平成18年度>	土佐清水市	同左	247	100	竜串湾オニヒトデ等駆除事業 竜串海中公園地区のサンゴ礁景観の保護、美しい景観や環境資源の保全を行った。 ①サンゴ礁の監視、観測の実施 ②オニヒトデ等の駆除の実施
	土佐清水市	同左	1,000	500	竜串湾サンゴ再生事業 竜串海中公園地区のサンゴの再生及び竜串の美しい景観や環境資源の保全に努める。 ①岩礁上部にサンゴ移植を実施 ②サンゴ上の泥土除去・海底清掃 ③ガンガゼ・ナガウニ等の駆除
	津野町	津野町森の拠点づくり運営委員会	1,102	1,052	森の拠点づくり推進事業 津野町の豊かな自然にふれあいながら、親しみ、学び、楽しめることができる環境づくりの推進、自然環境への意識啓発を行った。 ①ホタル祭りの開催 ②自然学習・エコツアーシステムづくり ③自然案内人組織づくり ④遊歩道(環境学習の道)の整備 ⑤風車啓発用看板の設置・啓発
	土佐清水市	同左	2,238	1,119	清水まるごと浦島太郎化大作戦 足摺岬等の美化清掃を行い、自然環境を清潔に保持してウミガメの保護や、市民や利用者に自然環境保全や美化推進の意識啓発活動を実施した。 ①足摺岬、竜串、見残し、大岐浜、下ノ加江浜の美化清掃 ②自然環境美化啓発活動の実施
	四万十市	しまんと黒尊むら	2,062	1,945	お菊の滝整備事業 滝壺再生や歩道整備を自然環境に配慮した工法などを用い整備し、あわせて播州皿屋敷の紙芝居や環境に配慮した歩道整備と石工技術などの文化継承を伝えていく活動を実施した。 ①滝壺再生・歩道整備工事の実施 ②文化継承イベントの開催
	大月町	NPO法人黒潮実感センター	753	747	島の美術館 環境の大切さを写真を通して気付き、考えることで自然環境だけでなく、生活環境も含んだ環境への意識向上を図った。 ①柏島スライドショーの作成等の実施
	四万十町	奥四万十の元気源流大正美人の会	1,888	1,505	四万十町登録有形文化財調査 町域における建造物を国登録有形文化財候補物件として登録申請し、四万十の自然景観の中での文化観光、見学、滞在型の交流拡大を図り、住民参加による四万十町の豊かな環境づくりを実践継続する取組みを行った。 ①地域物件調査の実施 ②有形文化財登録申請資料の作成

5 生活環境の美化、景観保全の取組み事業一覧表

実施事業名	市町村等名	事業主体	事業費:千円	左のうち県費:千円	実施概要
清流・環境課 四万十川条例推進事業 <平成17年度>	—	—	9,755	9,755	①四万十川条例に基づく重点地域の指定及び許可基準(案)の作成 ②人と自然が共生する「共生モデル地区」に関する取組み
四万十川財団活動推進事業費(四万十川財団運営補助金) <平成17年度>	—	—	927	927	①四万十リバーマスター(育成事業費)による川に関する情報の提供及び来訪者の保全意識の醸成 ②四万十まるごと博物館事業(インタープリター養成等を通じた受入体制の整備)
四万十川条例推進事業 <平成18年度>	—	—	5,579	5,579	①四万十川条例に基づく重点地域における一定行為について許可制度の運用 ②人と自然が共生する「共生モデル地区」における協定の締結等の取組み
四万十川財団活動推進事業費(四万十川財団運営補助金)<平成18年度>	—	—	399	399	①四万十リバーマスター(育成事業費)による川に関する情報の提供及び川を中心とした地域の案内人の養成 ②四万十まるごと博物館事業(インタープリター養成等を通じた受入体制の整備)
観光振興課 高知県観光ビジョン実践支援事業 <平成18年度>	須崎市	浦ノ内地区住民会議ほか	180	90	住民との協働による景観地再生事業 ①沿道の景観支障木の除伐及び除草、清掃活動 ②観光案内板の設置及び塗り替え
	宿毛市	同左	308	153	足摺宇和海国立公園沖の島海中公園オニヒトデ等駆除事業 ①サンゴのオニヒトデ等による食害を防ぎ、サンゴ礁景観を保護した。
合計			50,385	35,787	

6 観光ボランティア等の育成、確保の取組み

<地域の案内人を育てよう>

1. 具体的な取組みと成果

「あったか高知観光条例」に基づいて策定された観光ビジョンについて、広く県民の皆さんに知っていただくために観光ビジョンの概要版を作成するとともに、ホームページ等の活用による広報に努めました。また、県内各地の観光ガイドの育成を目的としたセミナーの開催や、観光ガイドマニュアルの作成、インストラクターの養成など地域の案内人を育成する取組みも進めています。

■地域の案内人を育てよう

- 高知県観光ビジョンの目指す方向性を広く県民に知っていただき、県民一人ひとりが観光振興の担い手であるという意識を醸成するために「高知県観光ビジョン概要版」を作成

実施事業名	事業費：千円 ＜うち県費＞	実施概要
高知県観光ビジョン概要版作成事業 ＜平成 17 年度＞	4,213 千円 ＜4,213 千円＞	＜事業主体＞高知県 観光ビジョン概要版作成委託料 974 千円 印刷製本費 3,239 千円 ・高知県観光ビジョン及び高知県観光ビジョン概要版（15,000 部）

- 川に関する情報の提供及び川を中心とした地域の案内人「四万十川リバーマスター」の育成

■観光ボランティアガイドを育成し、活動を支援しよう

- 市町村等の実施する観光セミナー事業の開催など、観光ガイドの育成について支援を実施
 - ・ 安芸市（観光ボランティアガイド養成講座）
 - ・ 津野町（津野町観光案内ネット会議の設置、ボランティアガイドの育成）
 - ・ 四万十市（四万十観光ガイド育成講座、四万十おもてなし講座）
 - ・ 土佐清水市（観光セミナー）
- 「土佐二十四万石博」にあわせて、土佐観光ガイドボランティア協会の観光案内所を設置
- 「高知東海岸町並みネットワーク会議」の活動（再掲 P 41 参照）
- 国の重要文化財に指定された「安岡家住宅」を地域の宝として守り、魅力を広めていくために結成された「山北文化の会」の活動支援（香南市）
- 絵金蔵を中心とした赤岡町の町歩きの体制整備（香南市）
- 大正町に残る文化や建造物などを地域の住民が再認識し、町内を訪れる観光客への案内を目的

とする「大正美人の会」を結成し、旅行会社との連携による地域ツアーを実施（四万十町）

2. 今後の取組み

◎観光ガイドの育成とネットワーク

- ・観光ガイドの育成を進めるため、平成 19 年度に県内 4 ブロックでの観光ガイド研修を実施します。
- ・既存の観光ガイド組織の連携と活動の活性化を支援していきます。
- ・県内観光ガイドのネットワーク化を図っていきます。

◎花・人・土佐であい博における商品づくり

観光ガイド付きの町歩きなど、地域の案内人を活用した体験メニューの旅行商品化を進めていきます。

6. 観光ボランティア等の育成、確保の取組み事業一覧表

実施事業名	市町村等名	事業主体	事業費:千円	左のうち県費:千円	実施概要
観光振興課 高知県観光ビジョン実践支援事業 <平成17年度>	安芸市	安芸市観光協会	675	325	観光ボランティア育成事業 観光ボランティアガイドを養成し、観光客等の受入体制の整備に対して補助を行った。 ①観光ボランティアガイド養成講座の実施 ②観光案内マニュアルの作成 ③観光案内ガイドマップの作成
	土佐清水市	土佐清水市観光ボランティア会	160	80	土佐清水市観光セミナー開催事業 観光ボランティアガイドを育成し、観光客等の受入体制の整備に対して補助を行った。 ①観光ボランティア養成講座の実施
高知県観光ビジョン実践支援事業 <平成18年度>	土佐清水市	土佐清水市観光ボランティア会	200	100	土佐清水市観光ボランティア育成事業 観光ボランティアガイドを育成し、観光客等の受入体制の整備に対して補助を行った。 ①観光ボランティア養成講座の実施
	土佐清水市	同左	2,005	1,000	まるごとやさしい観光地づくり事業 ①民間接待所を案内するためのステッカーの作成 ②観光ボランティアガイドの活動支援のための観光案内看板の設置 ③上記の取組みや新たな観光資源を紹介するための観光パンフレットの全面改正
地域づくり支援課 元気のでる市町村総合補助事業 <平成18年度>	奈半利町	同左	1,181	590	町並み案内看板設置事業 ①町並み案内看板の設置 ②町歩き散策マップの作成
合計			4,709	2,338	

※地域の案内人の育成については、1. 観光資源の保護、発掘、育成の取組みの事業一覧表P16～20を参照

5. 生活環境の美化、景観保全の取組みの事業一覧表P43～45を参照

7 学校教育、社会教育における学習機会の確保の取組み

<高知県の自然・歴史・文化を学ぼう>

1. 具体的な取組みと成果

地域の資源を生かした体験型観光に積極的に取り組むことにより、地域の自然や歴史、文化の価値を改めて学ぶ機会が増えてきています。また、地域への関心や知識を持った人材育成を目的として、県内3大学と共同し地域学習講座や団塊の世代を対象とした学習の機会づくりを行いました。

四国全体の魅力をPRできる人材の育成や、観光客の受入態勢の整備を目的として「四国観光検定」などのご当地検定が実施され、地域の再確認と地域への誇りの醸成に向けた取組みが進められています。

■地域に誇りを持ってもらおう

○観光検定事業の実施

四国の自然、歴史、文化など幅広い分野にわたる、豊富な知識を持った人材育成と観光客の受入態勢の整備を目指して「四国観光検定」や、大河ドラマ「功名が辻」の放送に合わせた「江戸時代検定」などの観光検定が実施されました。

○花・人・土佐であい博における地域学習講座の開設

地域に対する関心や知識を高めることを目的として、県内3大学と共同し地域活性化に取り組む方々の交流授業を実施しました。

○観光に関する知識を身につけるとともに、観光サービスを体験しながら、観光客をもてなす体験授業の実施（伊野商業高校、安芸高校）

○「日本一の大杉」を紹介する観光リーフレットの作成（大豊町立大杉小学校）

■地域の文化を知ろう、生かそう

○地域の自然や暮らし、文化などを活用した体験型観光への取組みを通じた地域の良さの再認識（再掲P12～13参照）

○高知県の漁業やかつおの生態、海と山のつながりの学習とかつおのタタキづくり体験の実施（県漁協女性部連合協議会）

○郷土色豊かな文化や伝統、自然、産業などを題材とした「シニアサマーカレッジ」の企画（高知大学）

○豊かな人間性や社会性をはぐくむための学校教育における体験活動や地域間の交流事業の実施（文部科学省委託事業）

- ・地域と学校の特色を生かした体験活動

かつおのタタキづくり体験（黒潮町立佐賀小学校）

地域料理作り体験や地域の歴史と自然の体験学習（黒潮町立上川口小学校）

ホエールウォッチング体験と砂浜の清掃活動（黒潮町立大方中学校）

米作り（クジライス）とひろめ市場での販売活動体験（黒潮町立南郷小学校）

・都市と漁村との地域間交流事業の実施

海辺と山村の小学生の交流授業として農林漁業体験を実施（香南市立吉川小学校）

ドラゴンカヌーやかつおのタタキづくり体験の実施（大豊町立大杉中学校）

〇つるの里の復元（四万十川広域観光推進協議会）（再掲P41参照）

〇中国からの教育旅行での郷土芸能披露などのもてなし体験の実施

（南国市立岡豊小学校・国分小学校・十市小学校）

2. 今後の取組み

◎地域のことを学ぶ場づくり

県内3大学における地域学習講座を継続していきます。

◎学校における地域固有の文化、歴史等に関する知識の普及の促進

子どもたちに対して、観光に対する興味や理解を早い段階から促していくために、おもてなし教材の作成を検討していきます。

8 すべての人々にやさしい観光地づくりへの取組み

<「居心地が良かった」と言ってもらえる観光地づくり>

1. 具体的な取組みと成果

地域におけるおもてなしの心の醸成を目的とした「高知体感おもてなしツアー」の開催や、観光従事者の接客マナー向上を目的とした「おもてなしマスター養成講座」、おもてなしワッペンキャンペーン、観光客からのアンケートのフィードバックを実施するなど、観光客の受入態勢の向上に取り組みました。また、観光情報を効果的に提供することを目的として、観光ホームページのリニューアルや各種パンフレットの整備も行っています。

■おもてなしのこころを育てよう

○「高知体感おもてなしツアー」の実施

身体に障害のある方を高知にお迎えして、ツアーを通じた受入側のおもてなしの心の醸成などを目的に「高知体感おもてなしツアー」を県内各地で開催しました。(平成15～17年度)

○観光客の満足度の向上を図るため、観光事業者の接遇の向上研修を実施しました。また、観光客へのアンケート結果の関係者へのフィードバックやワッペンキャンペーンを実施しました。

実施事業名	事業費：千円 <うち県費>	実施概要
おもてなし推進事業 <平成17年度>	2,679 <1,616>	<事業主体>観光コンベンション協会 ・おもてなしマスター養成講座(観光従事者の接遇マナー向上研修の実施 23施設 32名参加) ・おもてなしの宿顧客評価アンケートの実施と分析データのフィードバックの実施 ・「お客様の声」アンケートの実施 ・タクシー事業者・管理者研修会への協力(参加者109名)
“おもてなしの心” 接客推進事業 <平成18年度>	3,493 <2,194>	<事業主体>観光コンベンション協会 ・おもてなしマスター推進事業(14施設 23名が参加) ・「高知おもてなしマスター」ネットワークミーティング専用サイトの開設 ・おもてなしの宿顧客評価アンケートの実施と分析データのフィードバックの実施 ・「お客様の声」アンケートの実施 ・おもてなしの心 HeartFull Kochi(ワッペンキャンペーンの実施) ・タクシー乗務員研修会 ほか

- 「高知県あったか観光マインド表彰」(地域に根ざした観光振興活動や接客サービスの向上に継続的に努めている方が対象) の実施
(平成 18 年度 団体 2・個人 2名 平成 19 年度 個人 2名)

■使い勝手のいいサービスを考えよう

- 旬の情報やイベント情報などをタイムリーに発信するためのホームページのリニューアル
 - ・観光コンベンション協会の管理する「よさこいネット」のリニューアル
 - ・各市町村のホームページ等の見直し(室戸市・安芸市・東洋町・土佐市・高幡広域市町村圏事務組合・津野町・中土佐町・四万十町)
- 四国内の観光・宿泊施設の割引券などをセットにした「四国で得するパスポート」を作成・配布(四国観光立県推進協議会事業)
- MY遊バスの乗車と観光・宿泊施設の割引券などをセットにしたMY遊パスの発売
- 鳴子型音声ガイド端末(ユビキタス技術)を利用した、観光ナビゲーションシステムの導入
- 「スマートモビリティ高知」(公共交通情報サイト)の新システム運用開始(再掲P34参照)
- お遍路さんへの公共交通機関の情報やコース周辺の観光情報の提供(再掲P34参照)

■外国からの観光客をもてなそう

「9 観光情報の発信、国内外からの誘客を促進する取組み」に記載(P56参照)

2. 今後の取組み

◎おもてなし県民会議でのアクションプランの策定(再掲P36参照)

◎お客さまの声アンケートの継続

観光コンベンション協会と協力して、県内140ヶ所でのアンケート調査を実施し、観光客へのおもてなしの取組みに反映させていきます。

◎観光ガイドタクシー養成講座の実施

観光における公共交通の利便性を高め、お客さまの満足度向上に寄与するため、付加価値の高い観光タクシーの実現に向けて取り組んでいきます。

9 観光情報の発信、国内外からの誘客を促進する取組み

＜文化は観光・観光は文化 情報の質を高めよう＞

1. 具体的な取組みと成果

大河ドラマ「功名が辻」の放送を本県観光をPRする絶好の機会ととらえ、メディア媒体を活用するなど積極的に取り組みました。観光情報のポータルサイト「よさこいネット」をリニューアルし、タイムリーな情報を提供するなど観光情報の発信を強化しました。こうした取組みの成果として「よさこいネット」のアクセス数は大幅に増加しています。

観光コンベンション協会が中心となったセールス活動を実施するとともに、コンベンションの開催助成や閑散期における誘客促進のためのインセンティブ事業を実施しました。

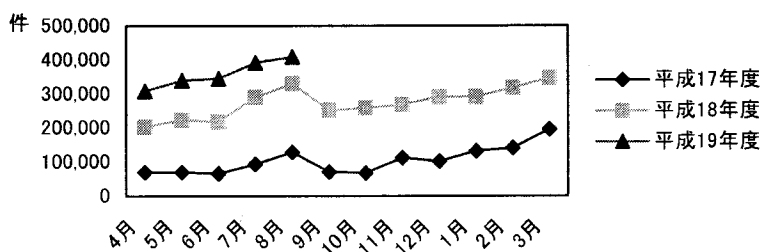
国際観光への取組みとしては、青島・台湾へのトップセールスを行うとともに、青島市観光協会と観光協定を締結しました。また、平成18年度には、本県では初めての中国と台湾からの修学旅行を受入れました。

■質の高い観光情報を発信しよう

○高知県観光情報のポータルサイトである「よさこいネット」の充実、情報誌やパンフレットを活用した情報発信を行いました。また、東京で開催される「スーパーよさこい」に連動して「よさこい広場」を開催し、本県観光と物産のPRを実施しました。

実施事業名	事業費：千円 <うち県費>	実施概要
PR事業 <平成17年度>	48,653 <48,129>	<事業主体>観光コンベンション協会 ①観光情報収集発信事業 ・協会ホームページのメンテナンス・保守管理等 ・情報誌「あつたとさ」への協力 ・パンフレット等の作成 等
同上 <平成18年度>	47,758 <46,687>	②フィルムコミッション事業 ③よさこい広場事業

○観光情報ホームページ「よさこいネット」のアクセス数の推移（平成19年8月末現在）



		ページビュー	アクセス数	対前年比
平成17年度	4月	509,300	70,363	95.94%
	5月	481,591	69,641	107.77%
	6月	465,967	66,387	77.55%
	7月	756,523	93,234	90.36%
	8月	1,104,599	128,482	109.09%
	9月	458,616	70,837	102.49%
	10月	373,261	67,988	67.36%
	11月	565,117	112,667	161.99%
	12月	480,687	101,916	133.03%
	1月	659,027	132,490	158.60%
	2月	709,597	140,650	167.07%
	3月	895,472	195,778	228.50%
	年度計		7,459,757	1,250,433

		ページビュー	アクセス数	対前年比
平成18年度	4月	1,126,982	203,543	289.28%
	5月	1,129,974	223,504	320.94%
	6月	1,034,995	218,298	328.83%
	7月	1,541,630	289,013	309.99%
	8月	2,159,741	329,429	256.40%
	9月	1,251,867	251,640	355.24%
	10月	1,188,484	258,053	379.56%
	11月	1,180,409	268,440	238.26%
	12月	1,113,702	290,891	285.42%
	1月	1,063,749	290,910	219.57%
	2月	1,221,872	317,935	226.05%
	3月	1,407,909	345,739	176.60%
	年度計		15,421,314	3,287,395

		ページビュー	アクセス数	対前年比
平成19年度	4月	1,634,798	308,379	151.51%
	5月	1,742,648	339,461	151.88%
	6月	1,672,177	345,375	158.21%
	7月	1,349,445	391,526	135.47%
	8月	1,540,344	408,459	123.99%
	9月			0.00%
	10月			0.00%
	11月			0.00%
	12月			0.00%
	1月			0.00%
	2月			0.00%
	3月			0.00%
	年度計		7,939,412	1,793,200

○高知県に深い思い入れを持つ方々に、本県に関する情報を発信していただくことにより、本県の認知度とイメージの向上を図り、観光客増加につなげることを目的とした「高知県観光特使」制度を創設しました。(平成19年8月末現在110名)

■ 「あそこに行きたい！」と思わせる情報を発信しよう

- 交流人口や宿泊人口の拡大を目的に、観光コンベンション協会が中心となって、メディア媒体を活用したPRや、旅行会社へのセールス事業、コンベンション、教育旅行の誘致活動事業を実施しています。
- 県内で開催する各種大会や学術会議などの誘致を目的として、観光コンベンション協会がコンベンション誘致事業(助成金支援、郷土芸能・郷土料理・歓迎看板などの無料提供)を実施するとともに、コンベンション誘致のためのPRやキーパーソンを招聘しています。
- 宿毛フェリーを活用した旅行商品や冬季の本四高速を利用する募集型企画旅行商品に対して助成を実施(観光コンベンション協会)(再掲P36参照)

実施事業名	事業費：千円 ＜うち県費＞	実 施 概 要
マスメディア活用事業 ＜平成 17 年度＞	19,627 ＜19,627＞	＜事業主体＞観光コンベンション協会 テレビ・ラジオ番組への協賛、雑誌への特集記事の掲載、雑誌・新聞等への広告の掲載などメディア媒体を活用した事業を実施 ほか
同上 ＜平成 18 年度＞	22,070 ＜22,070＞	
教育旅行誘致事業 ＜平成 17 年度＞	3,498 ＜3,444＞	＜事業主体＞観光コンベンション協会 ・教育旅行誘致懇談会事業（首都圏対象誘致懇談会） ・教育旅行下見対応事業 ・修学旅行セミナー事業（県内 3 会場で開催） ・関西地区中学校修学旅行実態調査
同上 ＜平成 18 年度＞	2,362 ＜2,310＞	
コンベンション事業 ＜平成 17 年度＞	20,924 ＜13,825＞	＜事業主体＞観光コンベンション協会 ・コンベンション開催助成金交付事業 ・中・四国コンベンション誘致懇談会事業 ・コンベンションツール作成事業 ほか ＜参加人員 H17 71,021 人 H18 72,436＞
同上 ＜平成 18 年度＞	16,178 ＜10,990＞	
旅行会社等対策事業 ＜平成 17 年度＞	31,461 ＜31,461＞	＜事業主体＞観光コンベンション協会 ・企画旅行商品造成事業（宿毛フェリー・閑散期の本四高速の通行料金を助成） 宿毛フェリー利用人員 H17 2,267 名 H18 2,388 名 閑散期としての本四通行料金支援 H17 6,097 名 H18 931 名 ・旅行会社集客支援事業（平成 17 年度） 誘客拡大を目的として、大手旅行会社と契約し、個人型の旅行商品の集客目標を達成した場合に助成金を交付
同上 ＜平成 18 年度＞	1,924 ＜1,674＞	
セールス活動事業 ＜平成 17 年度＞	3,705 ＜3,689＞	＜事業主体＞観光コンベンション協会 対象：旅行会社、商品造成個所、旅行関連協会等、マスコミ関連
同上 ＜平成 18 年度＞	3,282 ＜3,264＞	

○国際観光の取組み

- ・外国からの旅行者への情報提供を行うために、観光コンベンション協会が日本観光旅館連盟高知県支部に委託して、高知駅構内に「i」案内所を設置
- ・青島・台湾をターゲットとしたトップセールスを実施。これにより青島市観光協会との観光協定の締結やチャーター便による相互交流、青島市アジア太平洋国際旅行博覧会への出展などPRを実施
- ・4県が共同で、台北国際旅行博に出展をするなどPR事業を実施

○教育旅行誘致の取組み

- ・平成18年度に本県では初めてとなる中国や台湾からの教育旅行の受入れを行いました。また、本年2月に四国4県の教育委員会、国際観光担当課、観光協会等で構成する「四国地域訪日教育旅行促進協議会」を設立し、受入校のニーズや課題についての調査を実施するなど教育旅行の誘致促進に向けた仕組みづくりを実施しました。

<海外からの教育旅行の受入実績> (平成19年7月末現在)

年度	H18	H19
学校数	4	1
人数	169	35

実施事業名	事業費：千円 <うち県費>	実施概要
国際観光振興事業 <平成17年度>	10,233 <10,201>	<事業主体>観光コンベンション協会 ・国際観光助成事業（助成金支援 378名） ・国際観光交流促進事業（日本観光協会四国支部の協力による台湾民放への取材協力・台北国際旅行博への出展参加） ・「i」案内所運営委託業務（利用者1,318人） ・台湾商談会開催事業 ・台湾マスコミ招聘事業
国際観光振興誘致事業 国際観光受入事業 <平成18年度>	8,424 <8,424>	<事業主体>観光コンベンション協会 ・国際観光助成事業（助成金支援 1,035名） ・海外セールス活動事業（台湾・韓国へのセールス） ・青島市観光交流推進事業（友好協定締結、青島国際旅遊博出展） ・「i」案内所運営委託業務（利用者1,919人） ・日本観光協会四国支部との共催事業として、雑誌取材及び台北国際旅行博への参加 ほか

2. 今後の取組み

◎観光情報の高度化

観光客の視点に立った旬の情報、広域観光ルート、テーマ別の観光情報の発信を実施していきます。

◎花・人・土佐であい博のPR実施

- ・マスメディアを活用したPRを実施します。
- ・「花・人・土佐であい博」に併せた、コンベンションやスポーツコンベンションの積極的な誘致に取り組みます。

◎教育旅行のPRの実施

幡多地域における教育旅行の受入れの拡大に向けたPRを実施するとともに、その他の地域で進められている教育旅行商品づくりを進めていきます。

◎訪日外国人の受入態勢の整備

- ・地域における訪日外国人の受入対応の向上を図るために、宿泊施設、交通機関、観光施設や飲食施設等を対象とした訪日旅行研修会を開催します。
- ・訪日外国人対応マニュアルの作成を検討します。

◎国際観光振興に向けた発地側に対する情報発信の強化

中国・台湾・韓国をターゲットとしたマスコミやエージェント招聘ツアーを実施します。

◎海外からの教育旅行受入のための態勢づくり

海外からの教育旅行の受入れを強化していくために、県内での学校交流の仕組みづくりを進めていきます。

10 四国4県の連携を促進する取組み

＜四国4県の魅力の足し算＞

1. 具体的な取組みと成果

四国における広域観光への取組みとしては、四国観光立県推進協議会（四国4県とJR四国により構成）が中心となって、首都圏における観光シンポジウムの開催や、旅行会社を対象としたプロモーション会議の開催、航空会社とのタイアップによる「四国キャンペーン」の実施、四国内の観光・宿泊施設の割引券などをセットにした「四国で得するパスポート」の作成など、誘客促進のための事業を実施しました。また、4県におけるグリーンツーリズムを推進する「四国グリーン・ツーリズム推進検討会」や、高知県と愛媛県の西南地域市町村で構成する「四国西南地域観光連絡協議会」においても、情報発信やルートづくりなど四国の他県と連携した取組みを進めています。

■四国をまるごと楽しむ観光メニューを開発しよう

○四国観光立県推進事業

平成16年度に策定したアクションプラン（平成16～20年度）に基づき、観光客誘致等の促進事業を実施しています。（具体的な取組みについては、P60～63参照）

実施事業名	事業費：千円 ＜うち県費＞	実施概要
四国観光立県推進協議会事業 ＜平成17年度＞	175,000 ＜35,000＞	＜事業主体＞四国観光立県推進協議会 アクションプランの4つの重点項目 ①効果的な広報・宣伝活動の推進
同上 ＜平成18年度＞	175,000 ＜35,000＞	②戦略的な誘致活動の推進 ③魅力ある観光地づくりと受入態勢の整備の推進 ④国際観光の推進

○四国西南地域観光連絡協議会等による情報発信や観光ルートづくり

- ・四国西南地域観光連絡協議会による移住促進型観光をテーマにした観光メニューの整理や移住フェアへの出展
- ・宿毛市と愛媛県宇和島市、愛南町の公共交通の利便性の向上と豊かな地域資源を活用した観光周遊ルートや周遊共通パスについて検討するためのモニターツアーを開催し、周遊ルート「四国さいはて 海の絶景」として商品化（再掲P36参照）

○「四国グリーン・ツーリズム推進検討会」による四国のグリーンツーリズムの推進

4 県におけるグリーンツーリズムを推進するために、平成17年6月に「四国グリーン・ツーリズム推進検討会」が発足しました。インストラクターの養成や体験施設と農林漁業体験民宿などを紹介したマップ「思いっきり四国！88癒しの旅」の作成、マップを活用したシールラリーを開催しています。

2. 今後の取組み

四国観光立県推進協議会アクションプランに基づき、引き続き4つの重点項目に沿って、戦略的かつ効果的に事業を展開していきます。

◎マスメディア活用を軸とした広報・宣伝の強化

四国観光のイメージを一体的にとらえて、広域的な情報発信をすることが課題となっていることから、広報・宣伝事業に取り組みます。

◎誘客促進に結びつけていくエージェントとの連携の強化

四国の魅力を十二分に打ち出した企画商品の開発を促すことに努めていきます。平成20年度は、瀬戸大橋の開通20周年・明石海峡大橋の開通10周年の節目を迎えることから、旅行会社に対し四国の魅力を一体的に打ち出した旅行商品の企画を促進するように働きかけていきます。

◎広域観光ルート形成をはじめとする観光客にアピールできる企画提案力の強化

四季折々の魅力を満喫できる広域観光ルートの提案を行っていきます。特に、花・人・土佐であい博の取組みを通じた他県への協力を要請していきます。

◎「四国八十八ヶ所霊場と遍路道」の世界文化遺産登録に向けた取組みの推進

◎国際観光振興に向けた発地側に対する情報発信の強化（再掲P57参照）

10 四国4県の連携を促進する取組み事業一覧表

基本政策	実施事業名	事業費(千円)	実施概要
平成17年度 広告宣伝活 動事業	マスメディアの活用	11,061	四国観光シンポジウムの開催 首都圏において四国の知事、県庁所在地の市長の参加する観光シンポジウムを開催。来場者526名(7月15日) 新聞に開催の告知、シンポジウムの内容を掲載することにより、四国の観光をPR
		3,268	東海地区癒しの四国展 中部国際空港が開港し、また愛知万博が開催されるなど注目を集めている東海地区名古屋市のワンダーシティにおいて2月18、19日の2日間観光PRイベントを開催。東海地区から四国への誘客促進を図る。
		1,736	雑誌とのタイアップ 四国の情報を掲載する雑誌(年4回150ページ)の誌面2ページに四国の情報を掲載。
広告・宣伝活動		4,869	5連ポスター作成 四国観光誘致ポスター「ユ海、デッ海、四国の旅。」(B1サイズ×5枚)のポスターを作成し、全国のJR主要駅1,500カ所で8月の約1ヶ月掲示。
		6,311	旅フェア2005出展 千葉幕張メッセにおいて、日本最大の旅の見本市に出展し、観光PRやパンフレットの配布により四国の魅力をアピール。来場者約 215,000人(4月22日～24日)
		20,994	愛知万博出展 愛知万博において「都道府県の日」(5月30日)にEXPOドームでの「こころのふるさと癒しの四国の日」を開催。伝統芸能を披露したほか、体験コーナーや特産品コーナーを設け、四国の魅力をアピール。来場者約10,150人(万博入場者数約126,000人)
観光情報の提供		3,369	インターネットによる情報発信 インターネットを活用し、四国の最新情報を提供。メールマガジンの配信。
		8,514	パンフレット・PRグッズの作成 四国を紹介する地図パンフレット、四国八十八ヶ所の地図パンフレットなどを増刷し配布。(外国語パンフを含む)
誘客促進事業	エージェンタイアアップ事業	68,495	旅行商品販売促進支援キャンペーン事業 航空会社2社が展開する「四国キャンペーン」(4月1日～6月30日、12月1日～3月16日)や大手旅行会社が展開するキャンペーンにおいて、四国の旅行商品づくりや販売促進、各種宣伝広告に対して支援。

10 四国4県の連携を促進する取組み事業一覧表

基本政策	実施事業名	事業費(千円)	実施概要
		8,532	四国観光プロモーション会議 首都圏の旅行会社を対象に、東京で四国の観光についての説明会を開催。四国から旅行関連事業者も参加。商談会を開催し、四国への具体的な誘客を促進。
		1,649	旅行会社への情報提供 全国主要5都市(東京、大阪、名古屋、広島、福岡)の旅行会社を上期と下期に直接訪問し、四国の旬の情報を提供し、四国の旅行商品の造成を促進。
	修学旅行誘致事業	1,735	修学旅行の誘致 修学旅行の誘致を促進するためにホームページでの修学旅行の情報を提供。
	四国八十八ヶ所誘客促進事業	2,501	四国八十八ヶ所パンフ作成 四国八十八ヶ所ウォーキングガイドの充実を図る。
	優待特典制度の充実	12,952	四国で得するパスポート作成 四国内の観光・宿泊施設の割引券などをセットにした「四国で得するパスポート」を作成し、四国内外に配布(約25万部)。観光客に対し特典を提供し、四国中の観光施設を巡り、四国のおもてなしの心が宿る四国の旅を提案。
	四国再発見事業	6,104	四国再発見フォトコンテスト 「四国の魅力を撮ろう」をテーマに、四国再発見フォトコンテストを実施し、四国の新たな魅力の掘り起こし、誘客促進を図るとともに、誘客促進素材として活用。
国際観光推進事業	国際観光推進事業	4,201	インバウンドフォーラム 四国運輸局とともに「インバウンドフォーラム」を松山市にて開催。中国上海市、広東省の政府関係者、旅行会社、マスコミを招聘し、フォーラムを開催。視察ツアーにより四国の魅力をPR。また、地元四国の旅行関連事業者との商談会を開催。(11月17日)
		5,080	四国観光ミッション 韓国ソウル市において、観光関係機関を表敬訪問し、また四国の観光セミナーを開催。日韓文化交流授業として阿波踊りとよさこい踊りを九里中学校約1,120名の前で披露。(11月9日～11日)
平成18年度 広告宣伝活動事業	マスメディアの活用	10,354	四国観光シンポジウムの開催 首都圏(東京・日経ホール)において、東洋文化研究者アレックス・カー氏の講演や四国内4市の市長のパネルディスカッションなどの観光シンポジウムを開催。来場者547名(7月14日)新聞に開催の告知、シンポジウムの内容を掲載することにより、四国の観光をPR。

10 四国4県の連携を促進する取組み事業一覧表

基本政策	実施事業名	事業費(千円)	実施概要
		3,715	メディアタイアップ 雑誌、フリーペーパーを活用し、四国の記事を掲載。旅行商品の造成、四国への誘客促進を図る。
		1,578	雑誌とのタイアップ 四国の情報を掲載する雑誌(年4回150ページ)の誌面2ページに四国の情報を掲載。
		1,500	歴史文化道ウォークガイド 四国の歴史文化道を紹介するガイド作成に対して助成。
広告・宣伝活動		6,115	5連ポスター作成 四国観光誘致ポスター「四国からの手紙」(B1サイズ×5枚)のポスターを作成し、全国のJR主要駅1,500カ所で6月の約1ヶ月掲示。
		5,251	旅フェア2006出展 千葉幕張メッセにおいて、日本最大の旅の見本市に出展し、観光PRやパンフレットの配布により四国の魅力をアピール。来場者約 143,000人(4月21日～23日)
観光情報の提供		8,260	インターネットによる情報発信 インターネットを活用し、四国の最新情報を提供。ホームページのデザインを変更。メールマガジンの配信。
		11,747	観光PR用素材作成 四国観光素材を動画で作成し、インターネットや観光PRで活用。
		7,834	パンフレット・PRグッズの作成 四国を紹介する地図パンフレット、四国八十八ヶ所の地図パンフレットなどを増刷し配布。(外国語パンフを含む)
誘客促進事業	エージェントタイアップ事業	59,652	旅行商品販売促進支援キャンペーン事業 航空会社2社が展開する「四国キャンペーン」(4月1日～6月30日、12月1日～3月16日)や大手旅行会社が展開するキャンペーンにおいて、四国の旅行商品づくりや販売促進、各種宣伝広告に対して支援。 1,228 旅行会社商品造成担当者四国研修 首都圏を中心とする各地の旅行会社の商品造成担当者などを対象に四国に実際に来ていただき、観光地視察等の研修を行う。 7,735 四国観光プロモーション会議 首都圏の旅行会社を対象に、東京で四国の観光についての説明会を開催。四国から旅行関連事業者も参加。商談会を開催し、四国への具体的な誘客を促進。(10月11日)

10 四国4県の連携を促進する取組み事業一覧表

基本政策	実施事業名	事業費(千円)	実施概要
		2,095	旅行会社への情報提供 全国主要5都市(東京、大阪、名古屋、広島、福岡)の旅行会社を上期と下期に直接訪問し、四国の旬の情報を提供し、四国の旅行商品の造成を促進。
	修学旅行誘致事業	2,947	修学旅行の誘致 四国4県合同で、首都圏の学校関係者、旅行会社を対象に「修学旅行誘致懇談会」を実施し、四国の環境学習、体験学習についての情報提供。(11月19、20日)
	四国八十八ヶ所誘客促進事業	1,500	四国八十八ヶ所誘客促進 韓国の旅行会社を招聘、PRの実施
	優待特典制度の充実	10,719	四国で得するパスポート作成 四国内の観光・宿泊施設の割引券などをセットにした「四国で得するパスポート」を作成し、四国内外に配布(約25万部)。観光客に対し特典を提供し、四国中の観光施設を巡り、四国のおもてなしの心が宿る四国の旅を提案。
	四国再発見事業	3,470	四国再発見フォトコンテスト 「四国の魅力を撮ろう」をテーマに、四国再発見フォトコンテストを実施し、四国の新たな魅力の掘り起こし、誘客促進を図るとともに、誘客促進素材として活用。
魅力的な観光地づくりと受入態勢整備事業	四国観光検定事業	4,663	四国観光検定事業補助 四国の自然、歴史、文化など幅広い分野にわたり、豊富な知識をもった人材育成と観光客の受入態勢の整備を目的に実施する四国観光検定に補助。
国際観光推進事業	国際観光推進事業	7,856	インバウンドフォーラム 四国運輸局とともに「インバウンドフォーラム」を11月1日徳島市にて開催。中国上海市、青島市の政府関係者、旅行会社、マスコミ、韓国の旅行会社、マスコミを招聘し、フォーラムを開催。視察ツアーにより四国の魅力をPRし、また地元四国の旅行関連事業者との商談会を開催。 2,013 旅行会社商談会開催事業 YOKOSO!JAPANトラベルマートに参加し、招聘ツアーを行ったり、商談会に出席することにより外国人観光客誘致を推進。
合計		331,603	

